

# 児童・生徒質問紙調査の 結果について

グラフの右に、各質問項目と国語および算数・数学の正答数との相関係数を示しています。

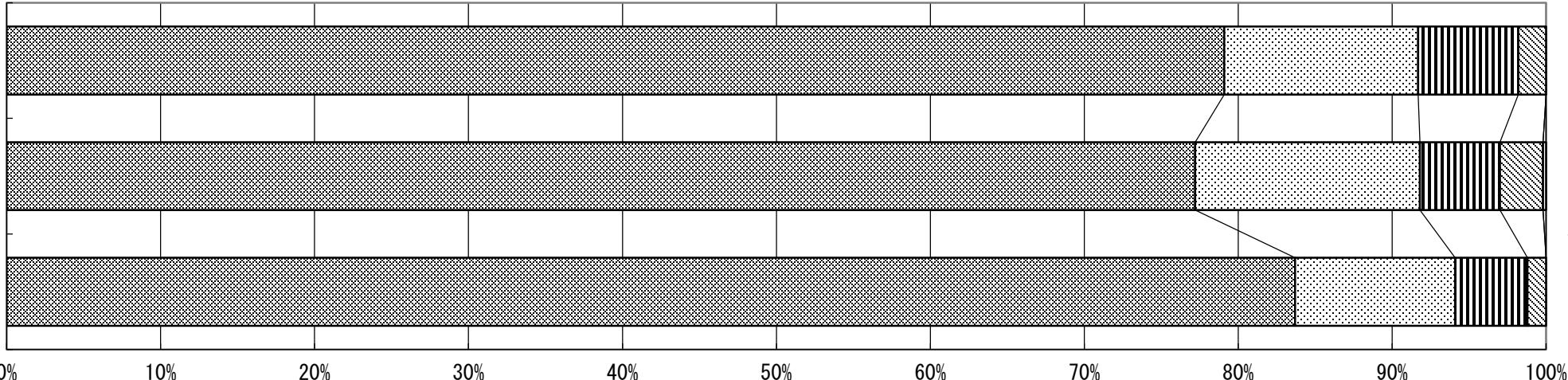
※相関係数とは … 2種類の値の関連の強さを表します。 (因果関係ではない)  
-1 ~ +1 の値をとります。

+1 に近い → 一方が大きいほどもう一方も大きい  
-1 に近い → 一方が大きいほどもう一方は小さい  
0 に近い → 互いに無関係

## 朝食を毎日食べていますか

小学校

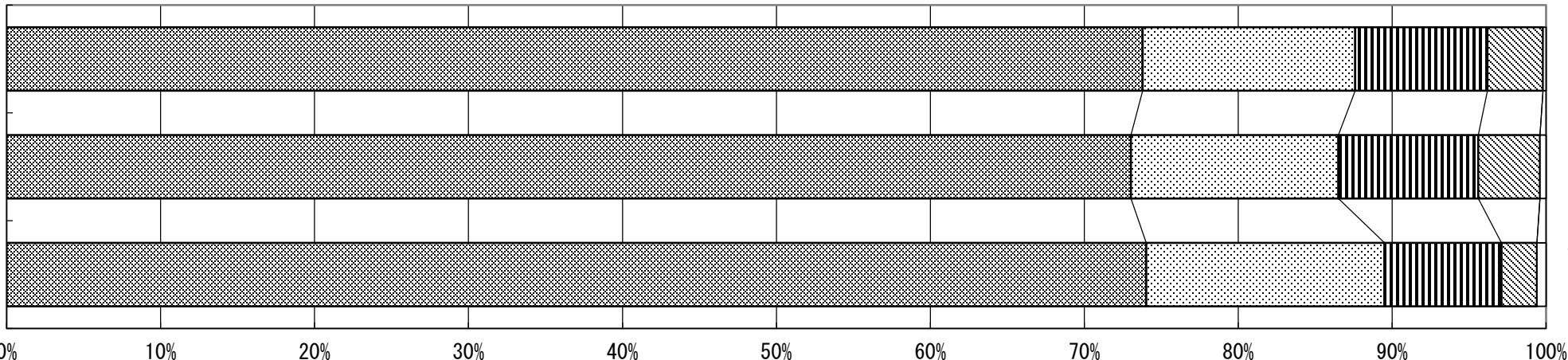
令和7年度



国 0.06  
算 0.10  
理 0.13

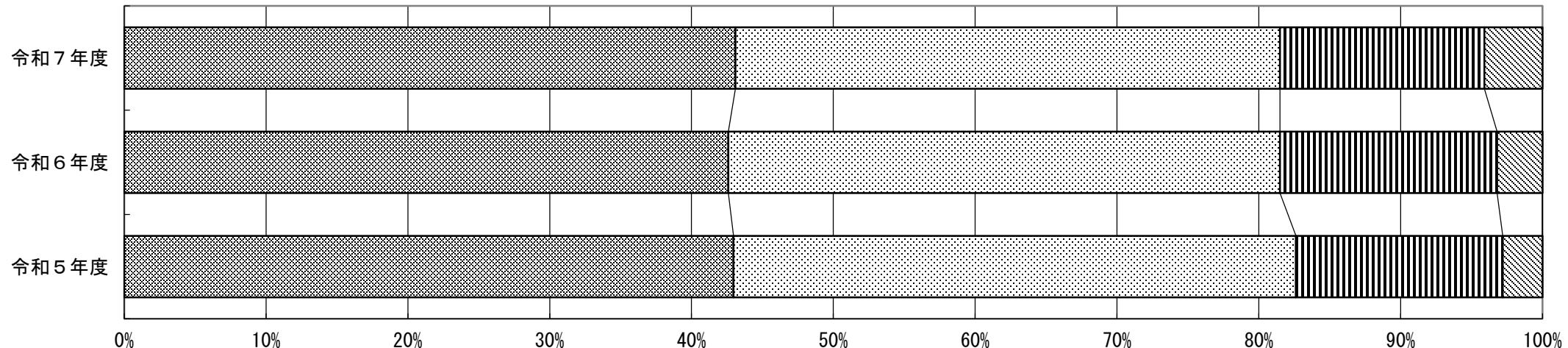
中学校

令和7年度



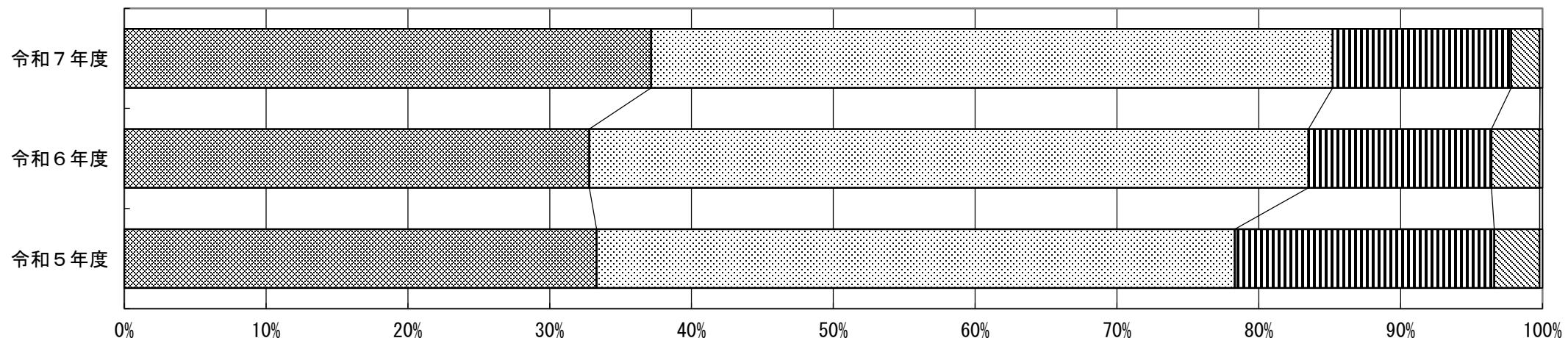
国 0.15  
数 0.22  
理 0.12

## 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



■1. している □2. どちらかといえば、している □3. あまりしていない □4. 全くしていない □その他 □無回答

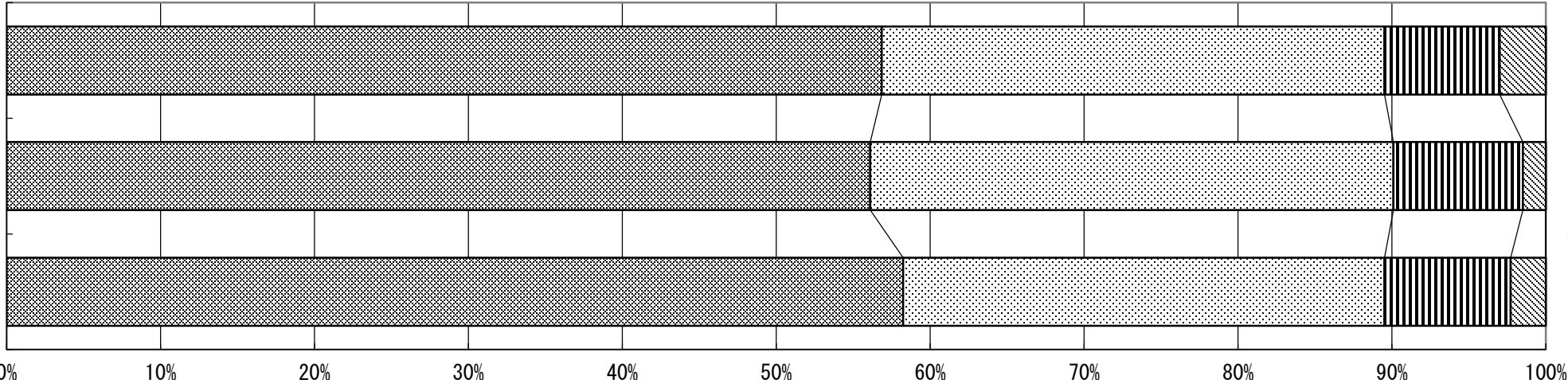
国 0.15  
算 0.18  
理 0.19



国 0.10  
数 0.09  
理 0.05

## 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

令和7年度



令和6年度

令和5年度

国 0.12  
算 0.13  
理 0.15

1. している2. どちらかといえば、している3. あまりしていない4. 全くしていないその他無回答

令和7年度

令和6年度

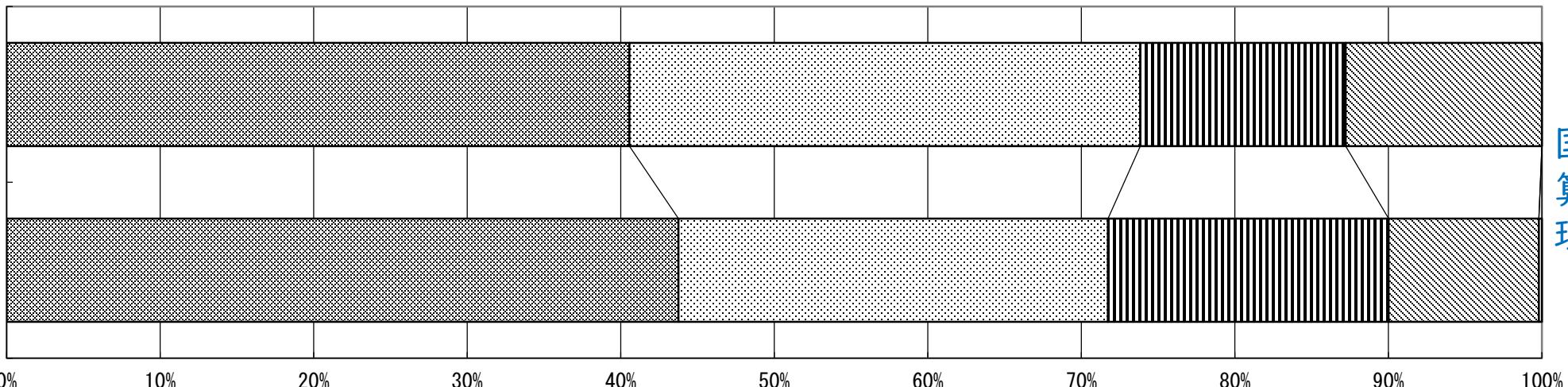
令和5年度

国 0.10  
数 0.10  
理 0.05



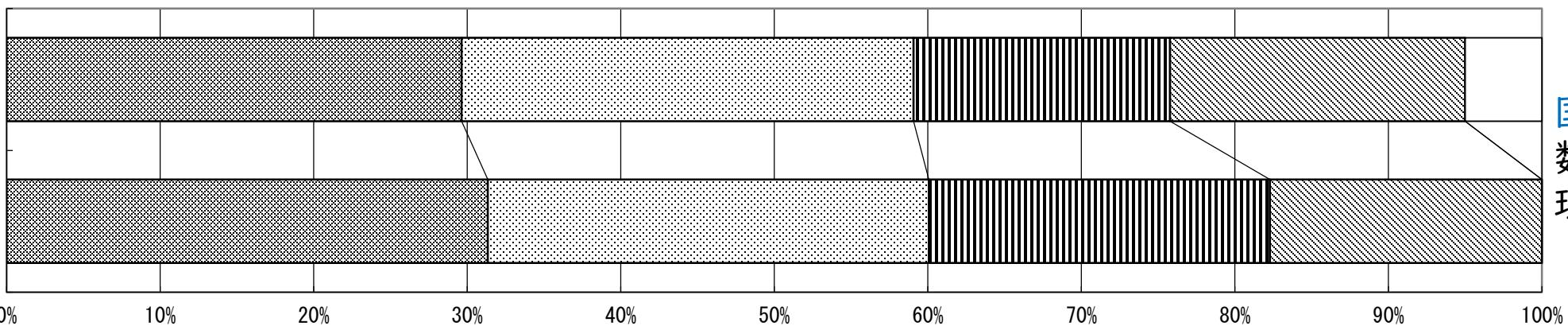
令和7年度

## 読書は好きですか



国 0.33  
算 0.32  
理 0.34

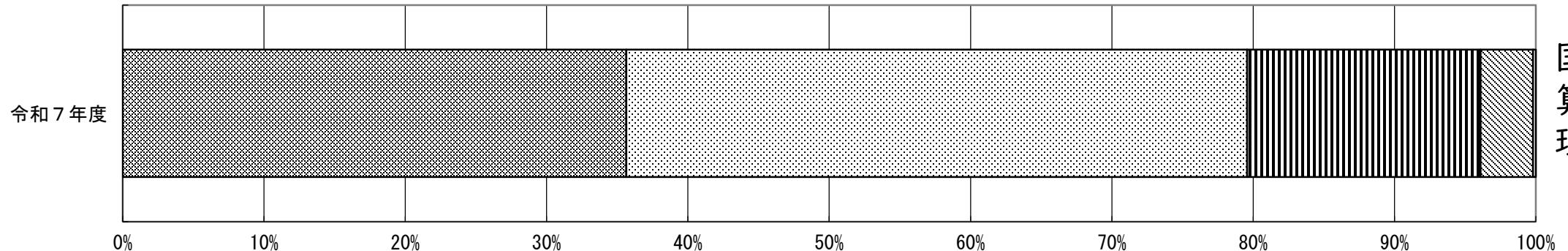
令和7年度



国 0.24  
数 0.18  
理 0.10

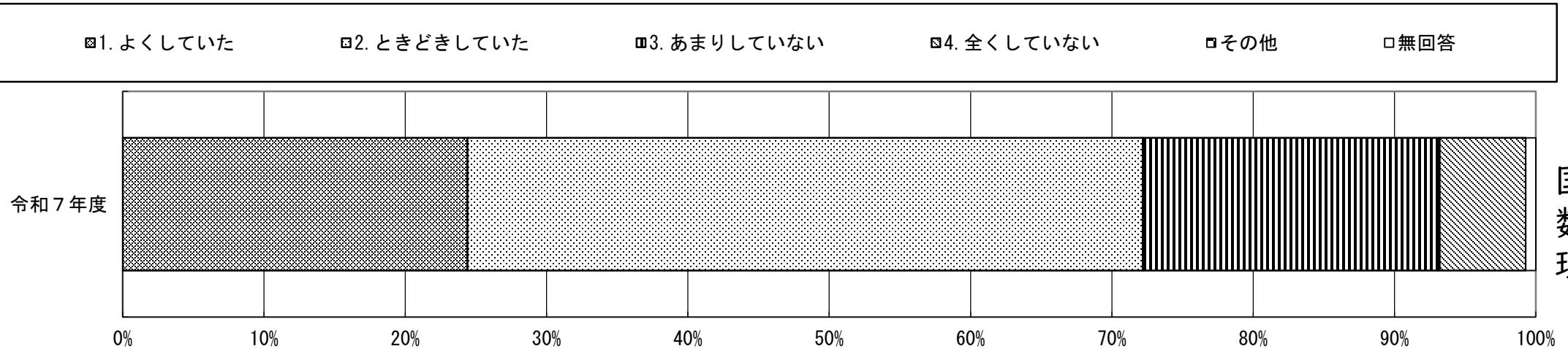
これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか

小学校



国 -0.03  
算 -0.03  
理 -0.01

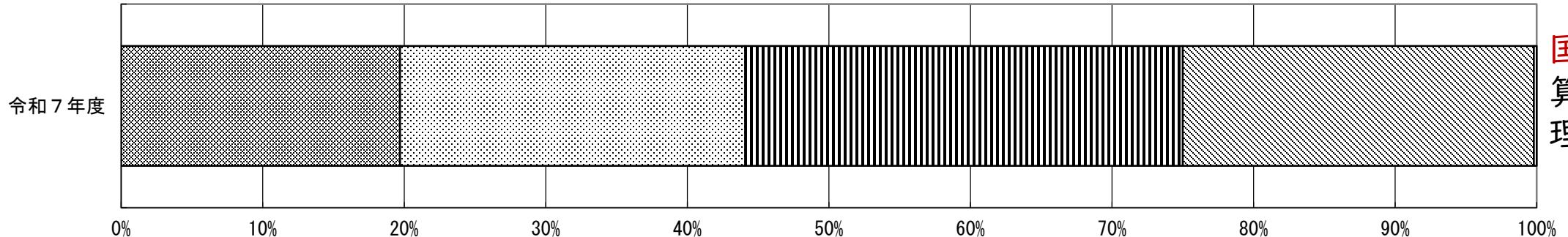
中学校



国 -0.07  
数 -0.03  
理 -0.03

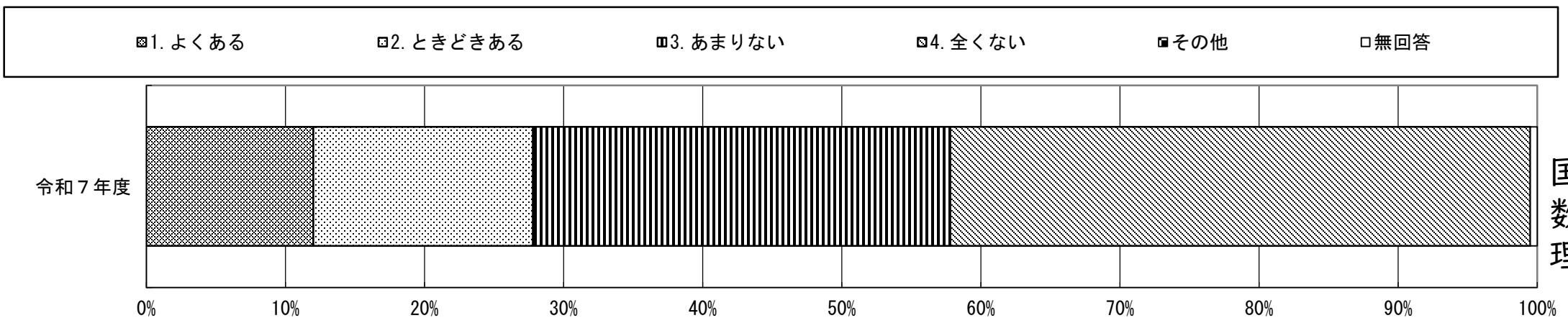
地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか（習い事は除く）

小学校



国 -0.20  
算 -0.16  
理 -0.19

中学校



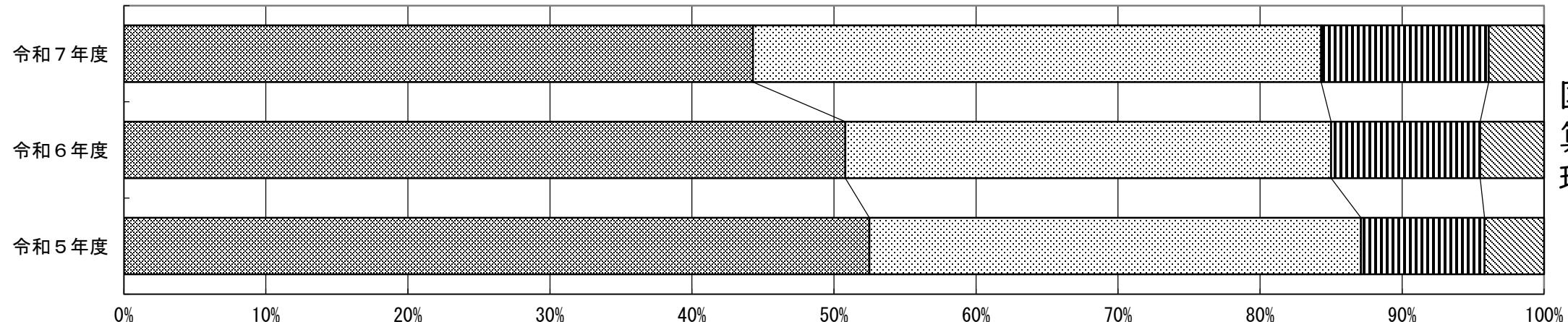
国 -0.12  
数 -0.04  
理 -0.08

## 基本的生活習慣等について

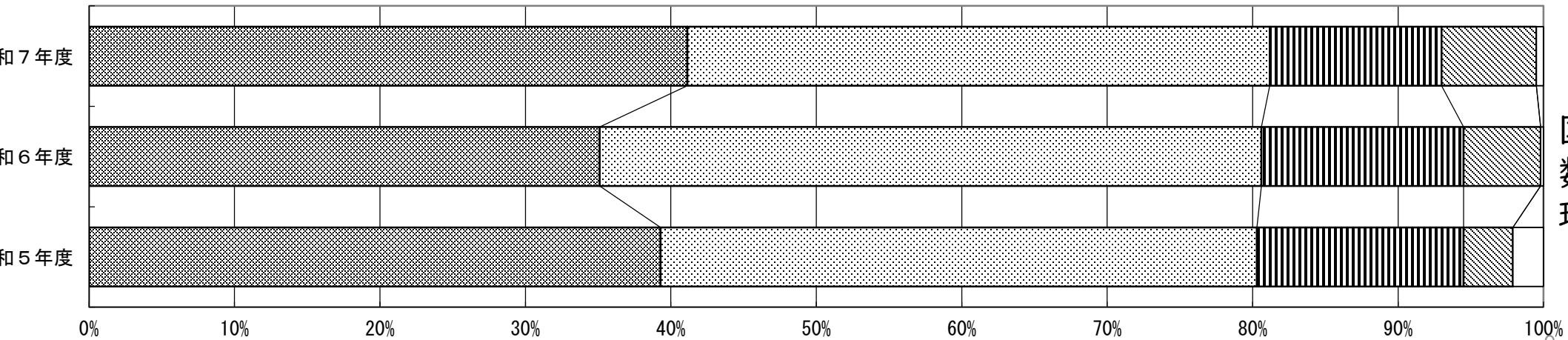
- ・朝食をとる児童生徒の割合については、昨年度よりやや改善傾向にあります。
- ・就寝起床時刻については、概ね安定しています。
- ・読書が好きな児童生徒ほど、学力が高い傾向にあります。
- ・地域の大人に関わってもらっている子どもは、少なくなっています。  
(習い事やクラブ活動は含んでいません。)
- ・自然と関わる児童生徒の割合については、全国とも同水準となっています。

## 学校に行くのは楽しいと思いますか

小学校



中学校

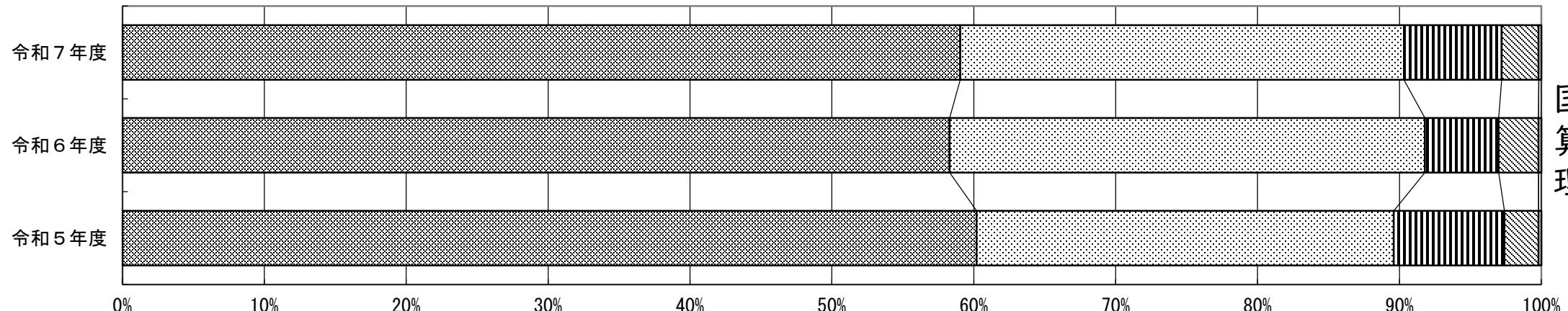


国 0.08  
算 0.08  
理 0.11

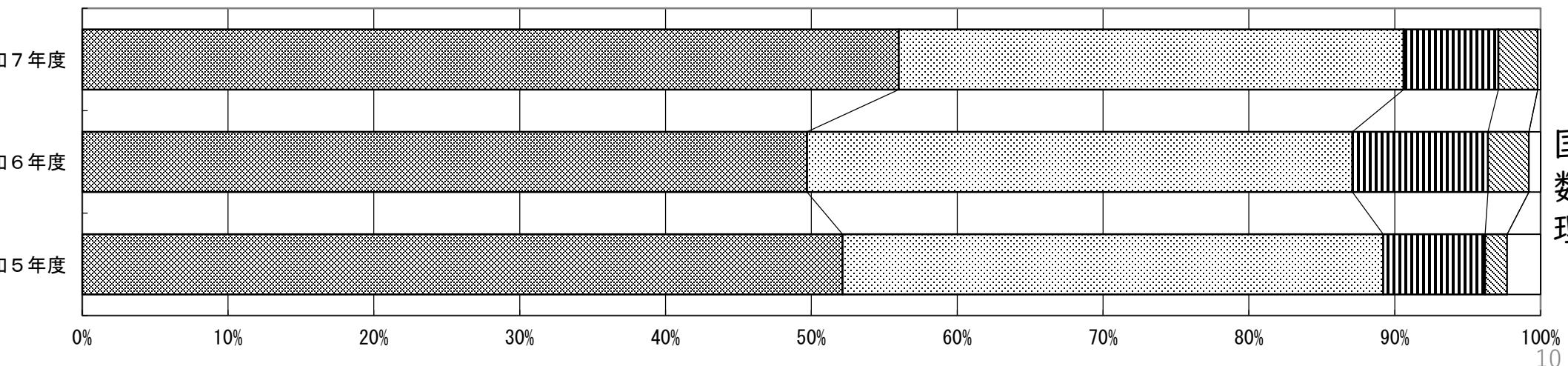
国 0.01  
数 0.07  
理 0.09

## 友達関係に満足していますか

小学校



中学校

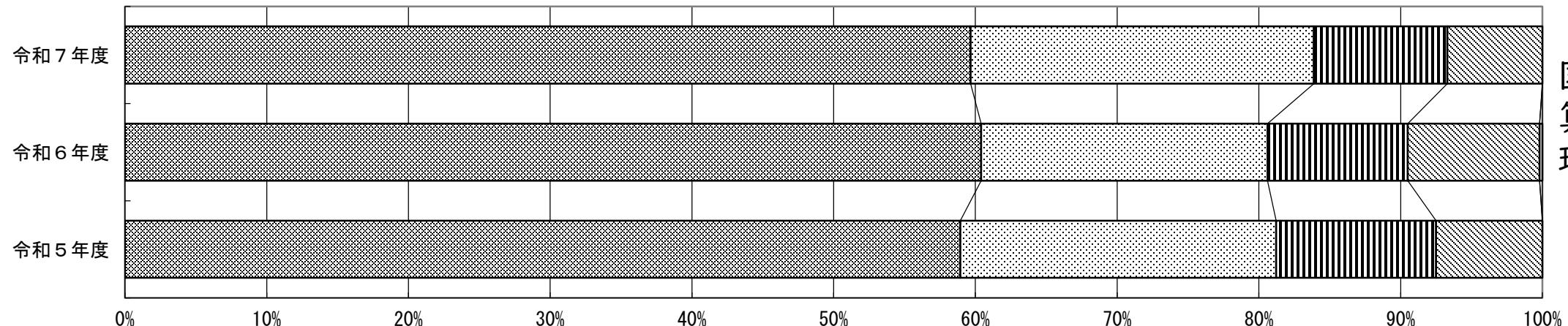


国 -0.01  
算 0.00  
理 -0.01

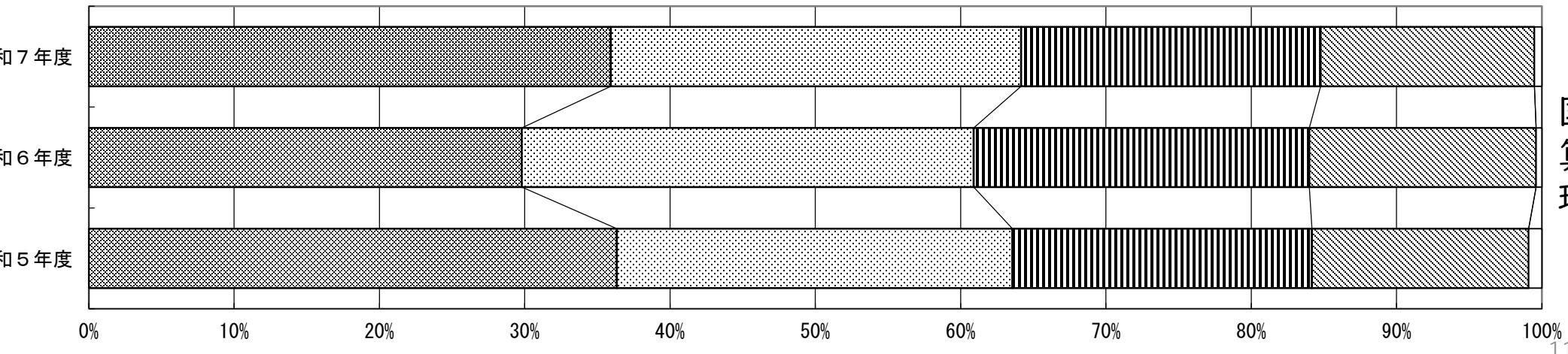
国 -0.01  
数 0.05  
理 0.08

## 将来の夢や目標を持っていますか

小学校



中学校

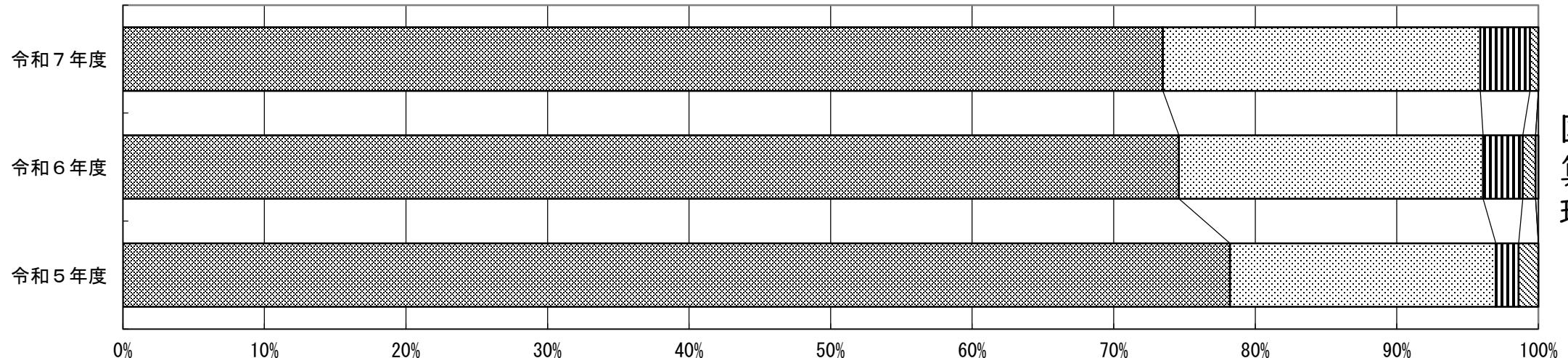


国 -0.07  
算 -0.06  
理 -0.06

国 0.08  
算 0.05  
理 0.05

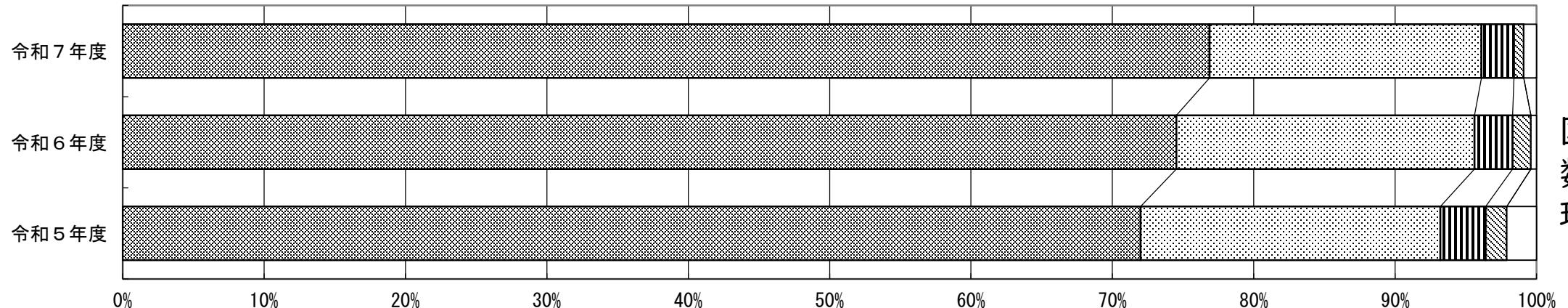
## いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

小学校



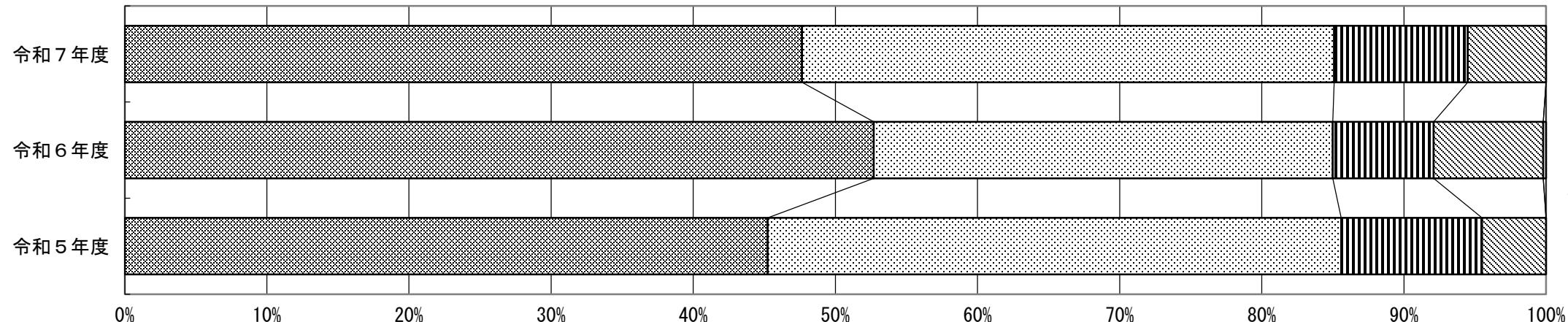
■1. 当てはまる    □2. どちらかといえば、当てはまる    □3. どちらかといえば、当てはまらない    □4. 当てはまらない    □その他    □無回答

中学校

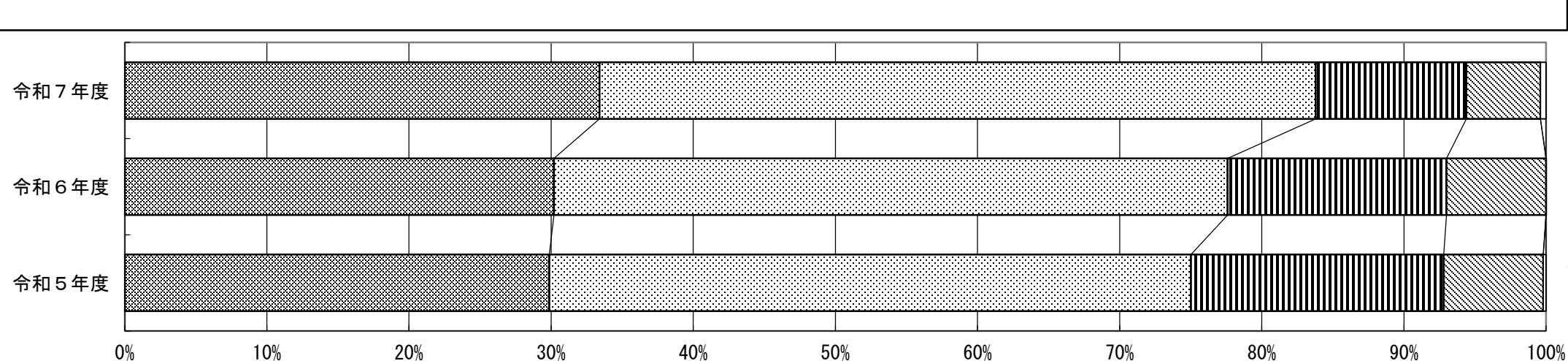


## 自分には、よいところがあると思いますか

小学校

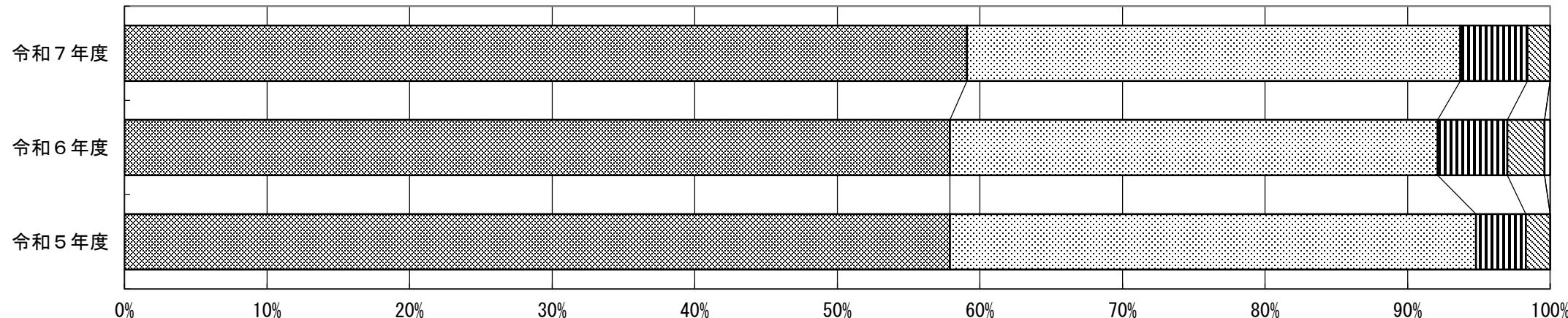
国 0.11  
算 0.10  
理 0.07

中学校

国 0.05  
数 0.06  
理 0.07

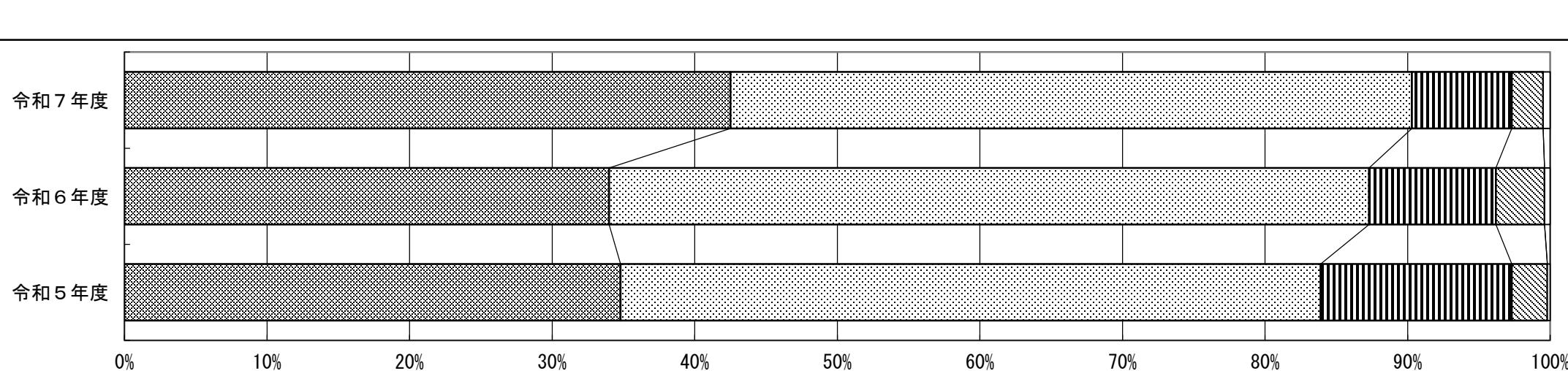
## 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

小学校



国 0.00  
算 0.04  
理 0.01

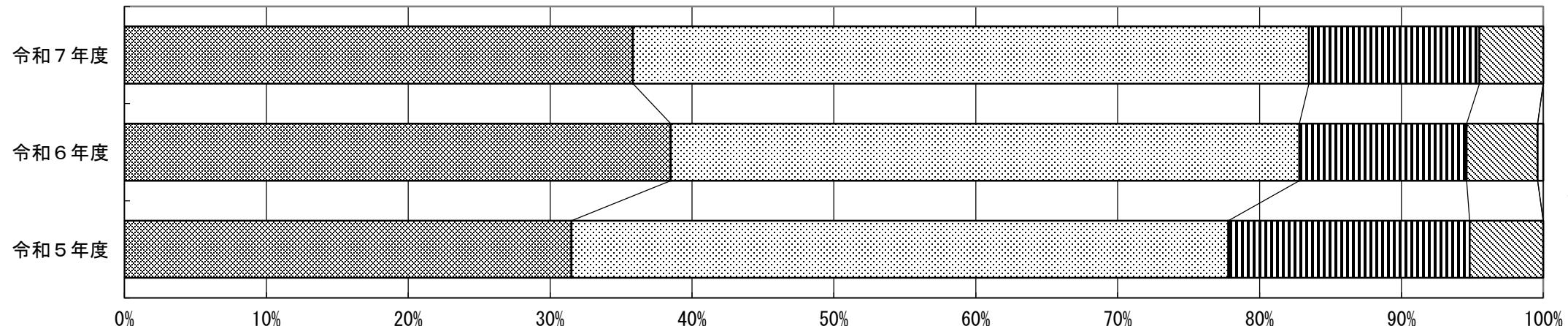
中学校



国 0.01  
数 0.01  
理 0.00

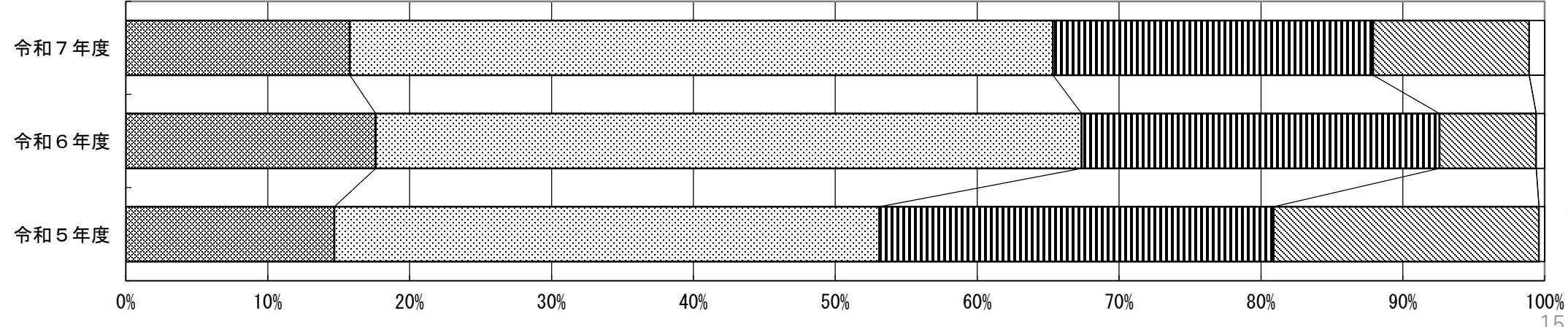
## 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

小学校



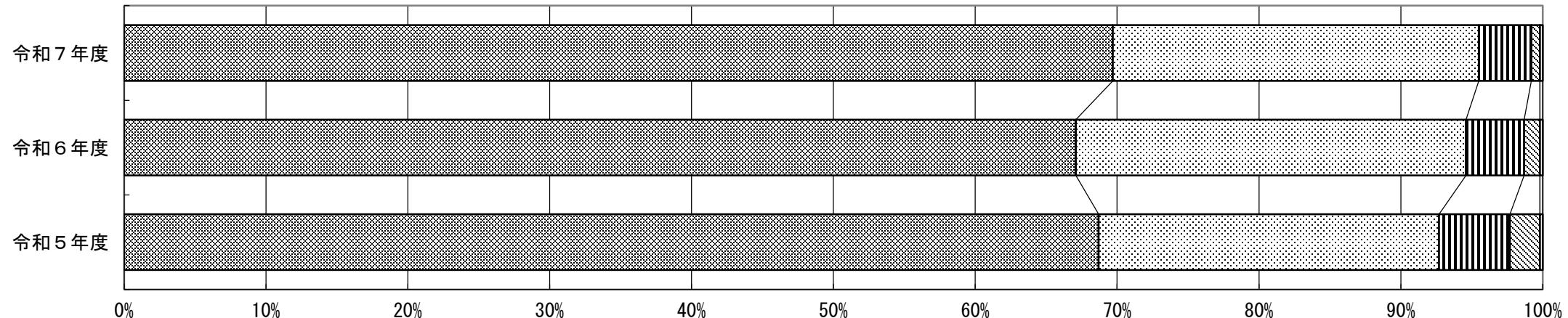
中学校

■1. 当てはまる    □2. どちらかといえば、当てはまる    ▨3. どちらかといえば、当てはまらない    □4. 当てはまらない    □その他    □無回答

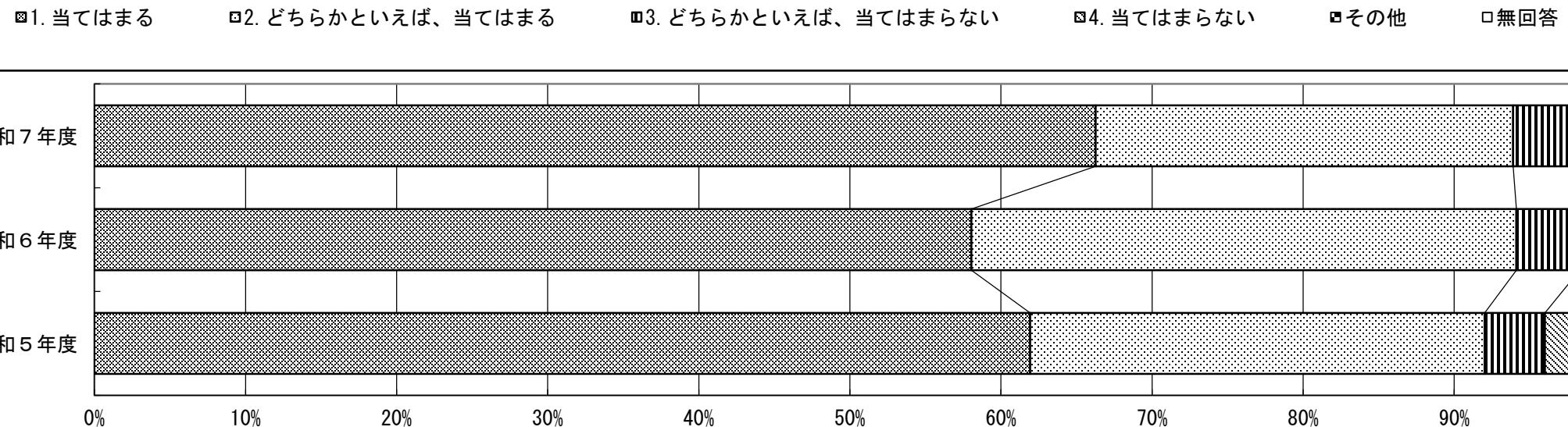


## 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

小学校

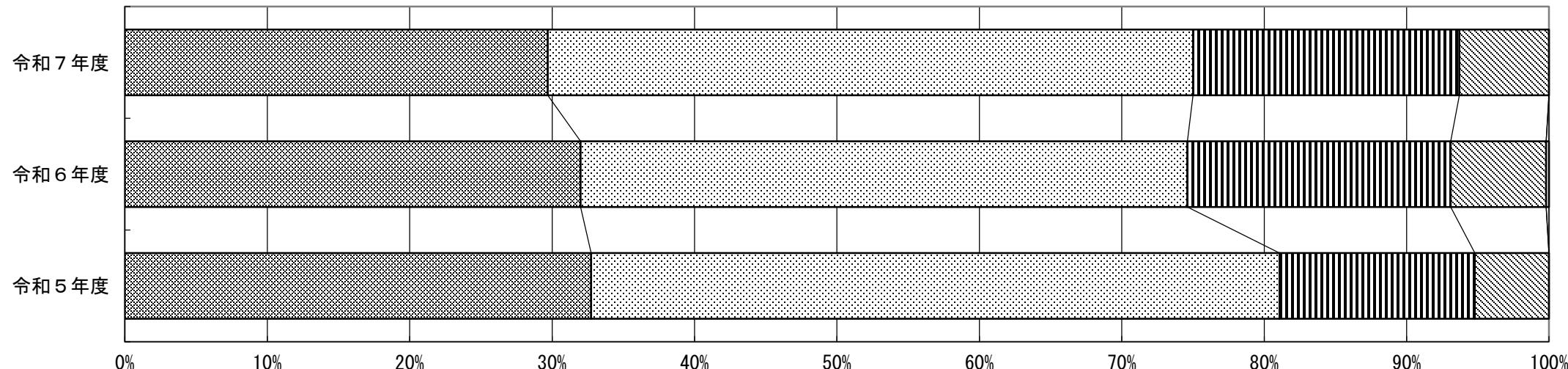


中学校

国 0.13  
算 0.08  
理 0.18国 0.09  
数 0.10  
理 0.07

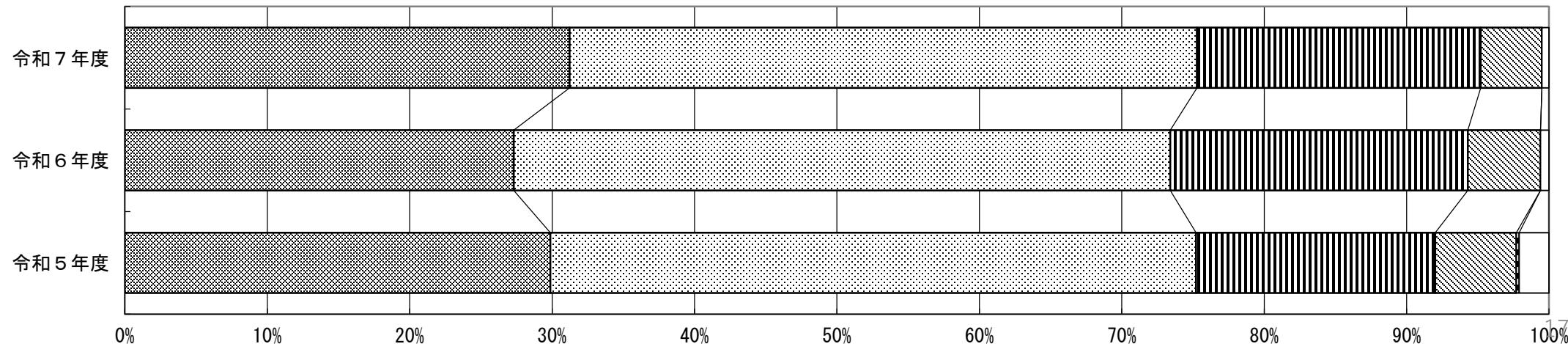
## 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

小学校



国 0.06  
算 0.15  
理 0.14

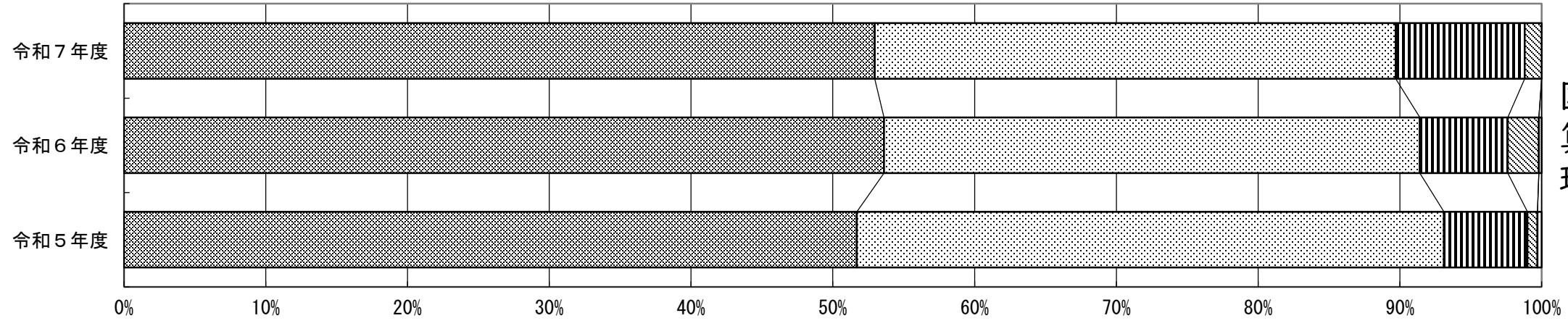
中学校



国 0.19  
数 0.21  
理 0.15

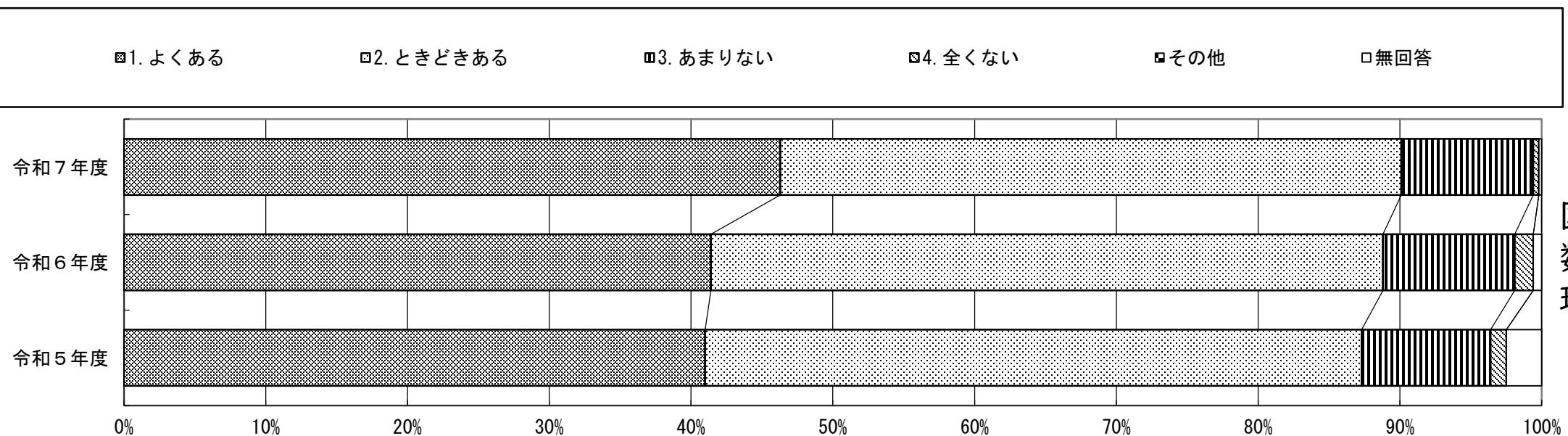
## 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか

小学校



国 0.02  
算 -0.01  
理 0.00

中学校



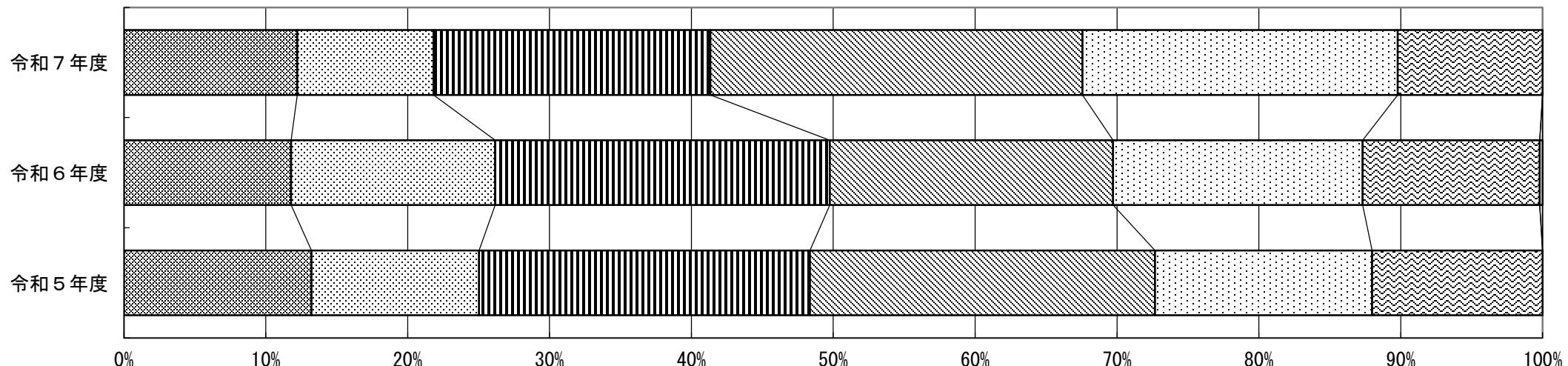
国 0.05  
数 0.08  
理 0.04

# 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感 地域や社会に関わる活動の状況 等

- 学校の楽しさ、友だち関係の満足度、幸せな気持ちになることについては概ね高い水準を保っていますが、そうではない児童生徒の背景を知ること等の子ども理解が大切です。
- 将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合が増加傾向にあります。学校での授業や活動、家庭での習い事、個人の趣味等が将来にどう結びつくのか、納得感や必要感について、継続的に意識していくことが重要です。
- 自己肯定感はおおむね高く、中学校では特に強い肯定の割合が増加しました。他者がよいところを認めてくれるかどうかと相関が強く、一人ひとりへの関わり方が重要です。
- 地域や社会をよくしたい、人の役に立ちたい児童生徒の割合は、コロナ禍と比べて概ね増加傾向にあります。

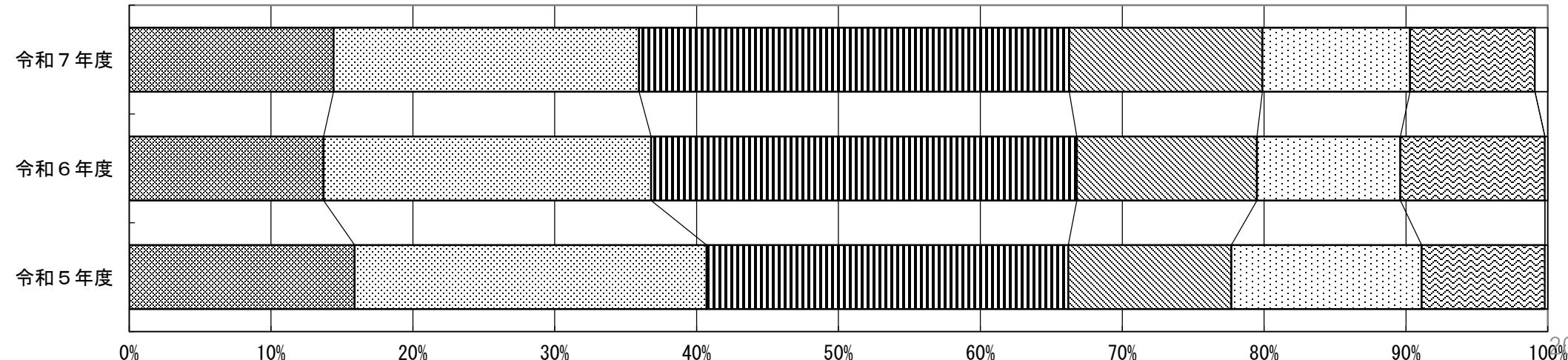
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか  
(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

小学校



国 0.25  
算 0.26  
理 0.21

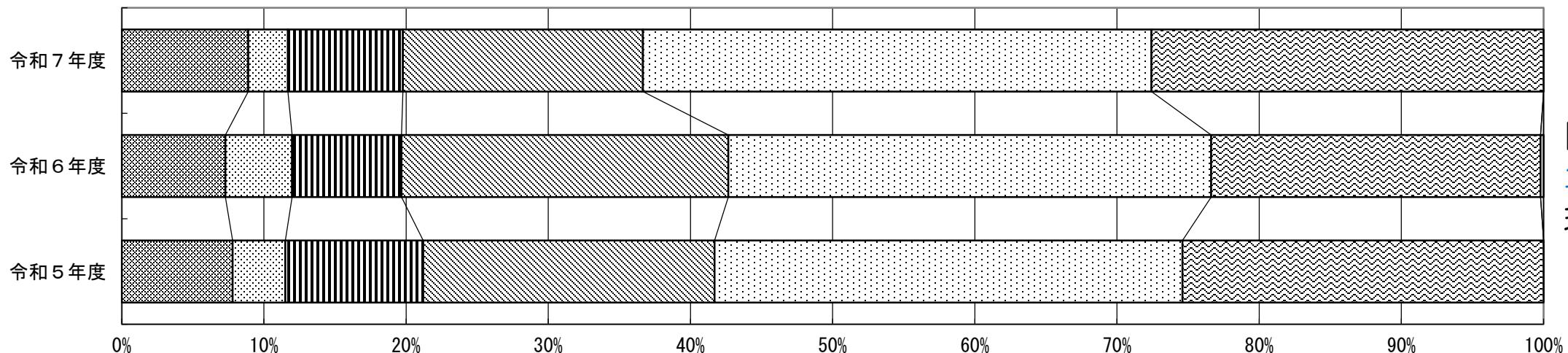
中学校



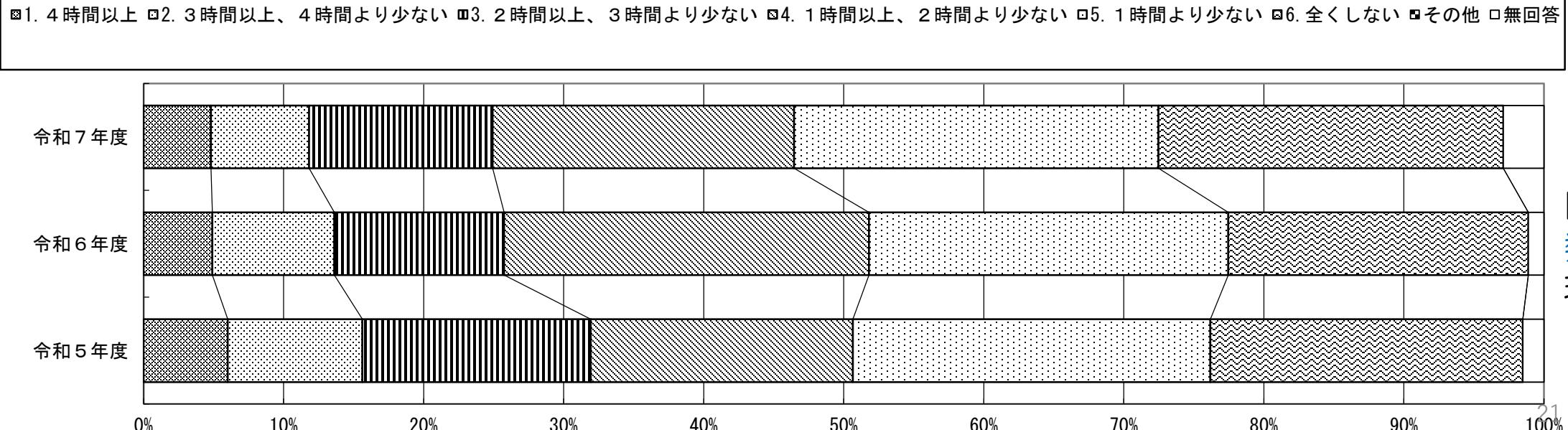
国 0.17  
数 0.22  
理 0.14

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか  
(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

## 小学校

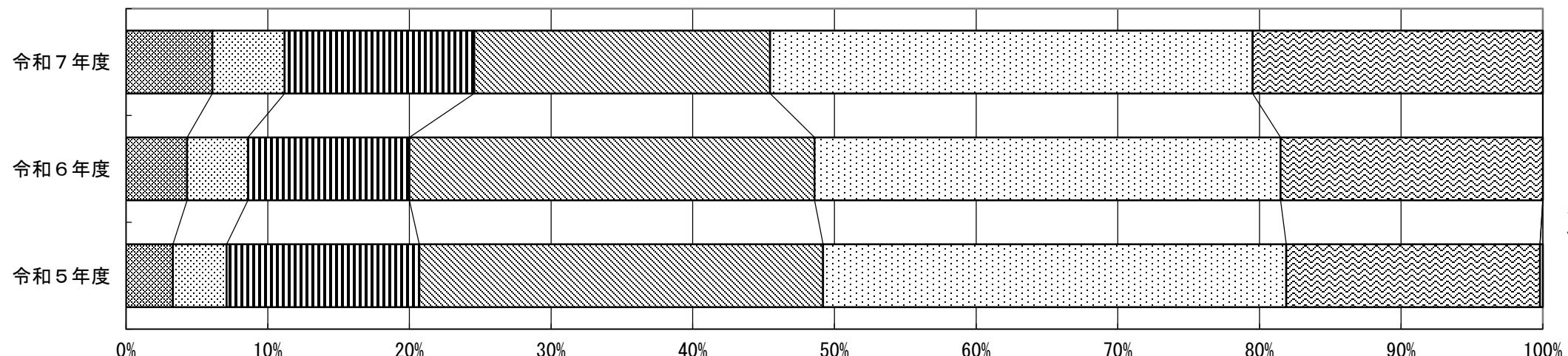


## 中学校



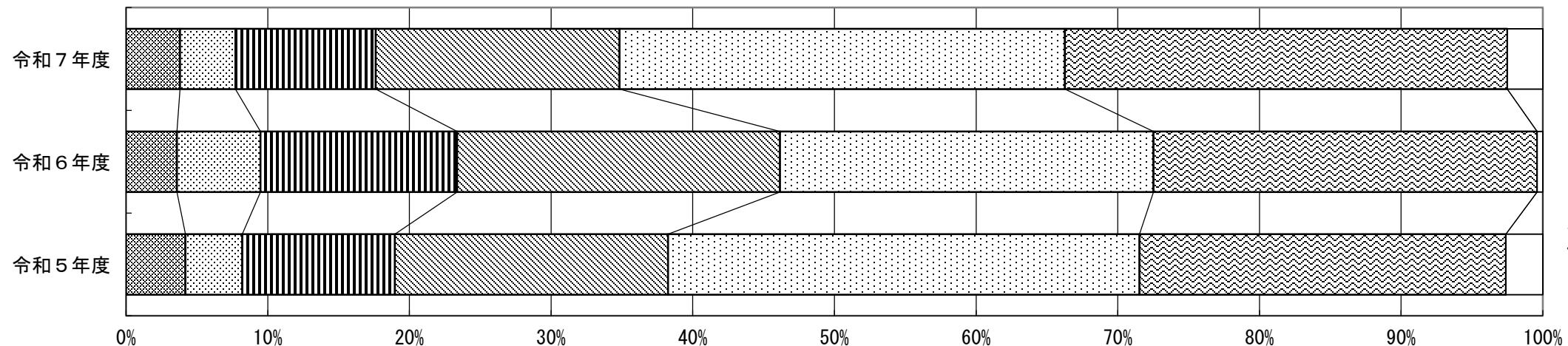
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）

小学校



国 -0.06  
算 -0.06  
理 -0.07

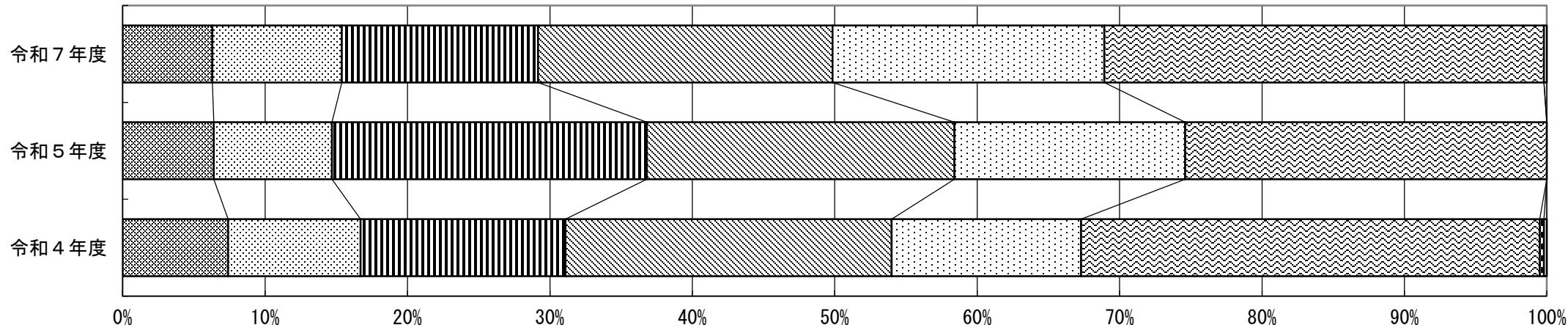
中学校



国 -0.01  
数 -0.02  
理 0.01

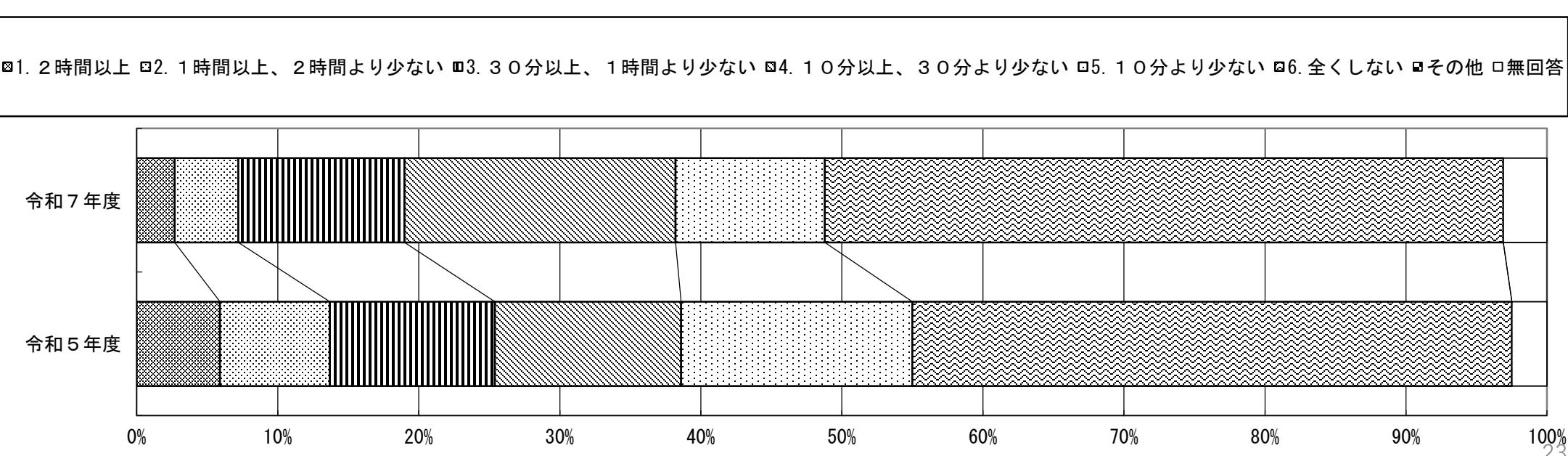
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか  
(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)

小学校



国 0.21  
算 0.21  
理 0.19

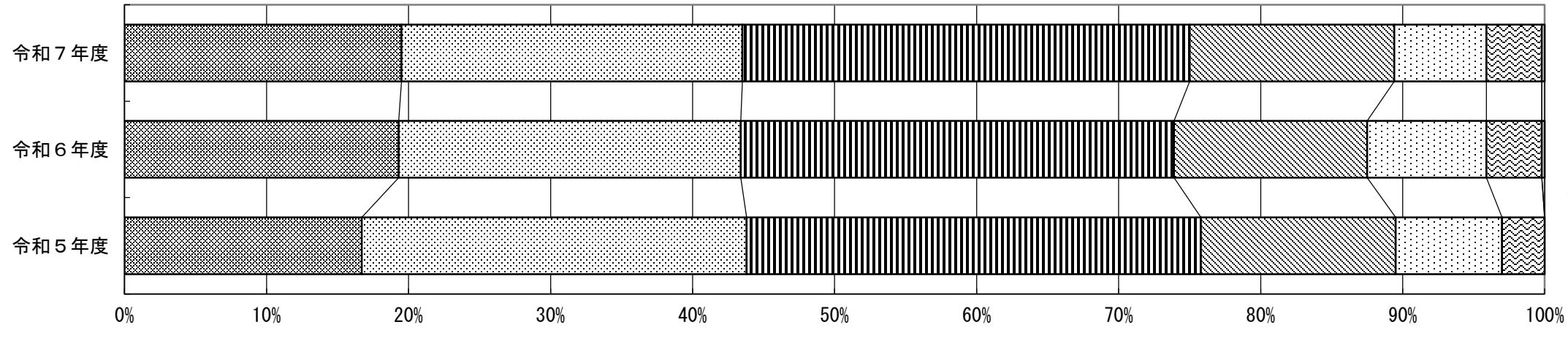
中学校



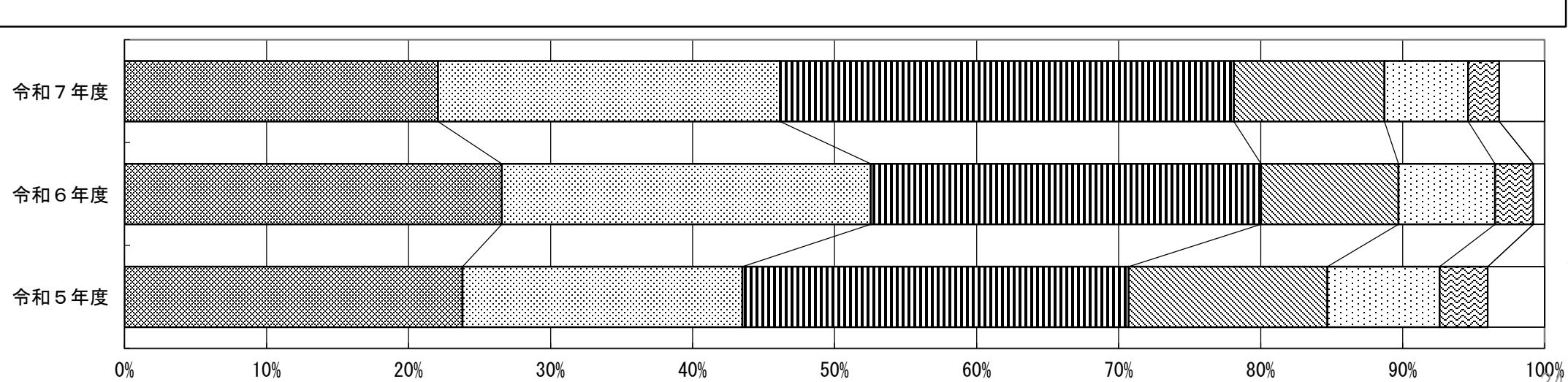
国 0.12  
数 0.09  
理 0.09

## あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）

小学校

国 0.34  
算 0.36  
理 0.32

中学校

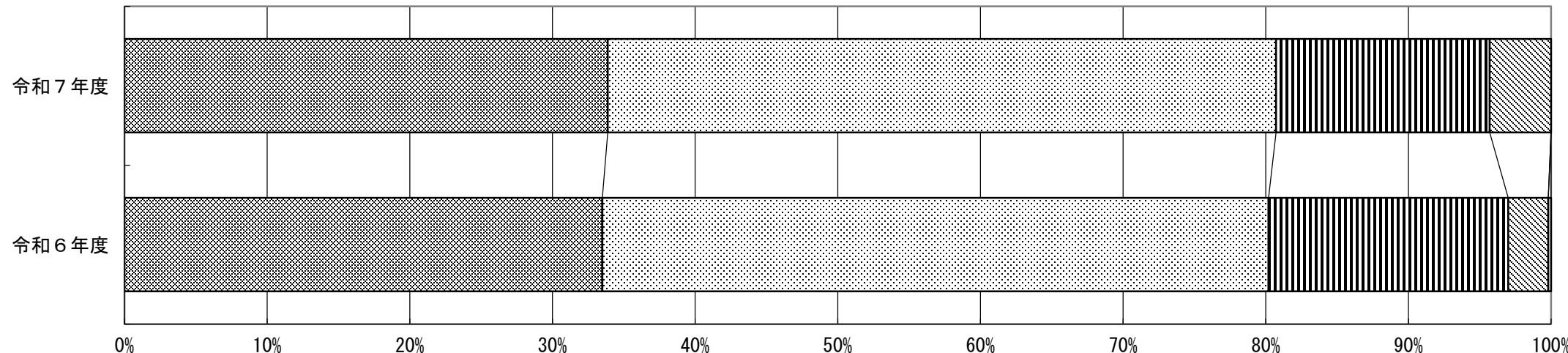
国 0.19  
数 0.22  
理 0.09

## 学習習慣、学習環境等

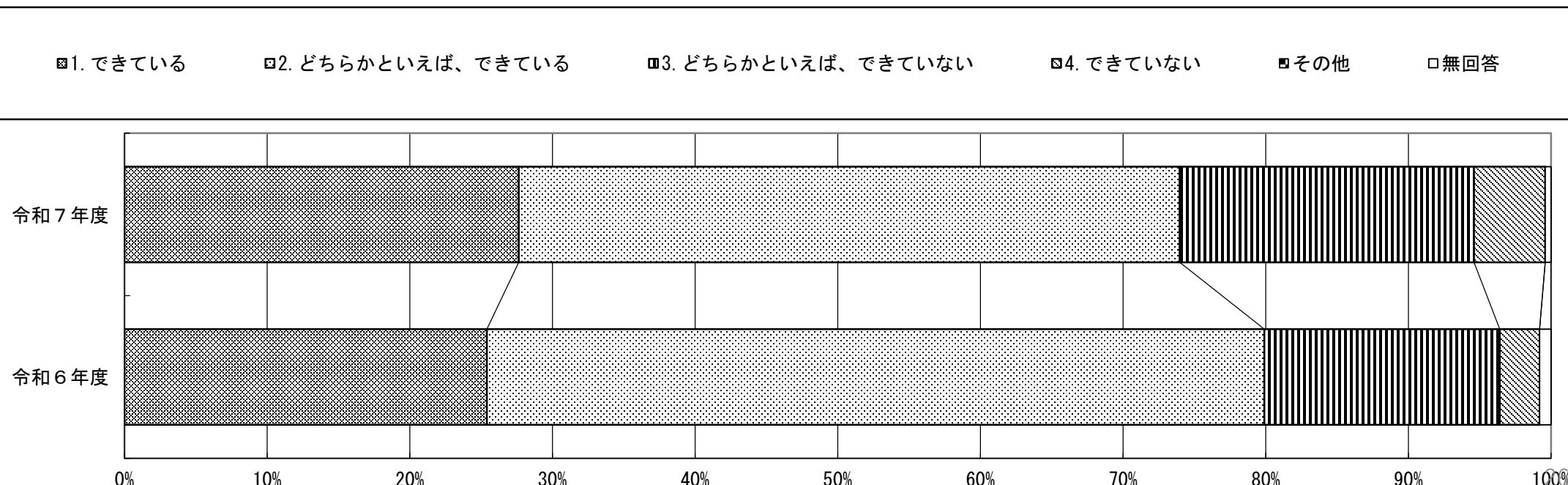
- ・ 学習時間については減少傾向にあります。コロナ禍を経て、学ぶ意義については児童生徒および保護者でも、全国的に意識の変化が見られるようです。
- ・ 本が充実している等の、語彙の形成や想像力育成のための環境が、特に小学校において、各教科の正答数と強い相関を示しています。  
→ 泉大津市においても学校図書館法や学校図書館図書標準に則り、公立図書館シープラや各学校図書館の蔵書数の確保や、蔵書構成比率を意識した配架を心掛けています。

分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

小学校

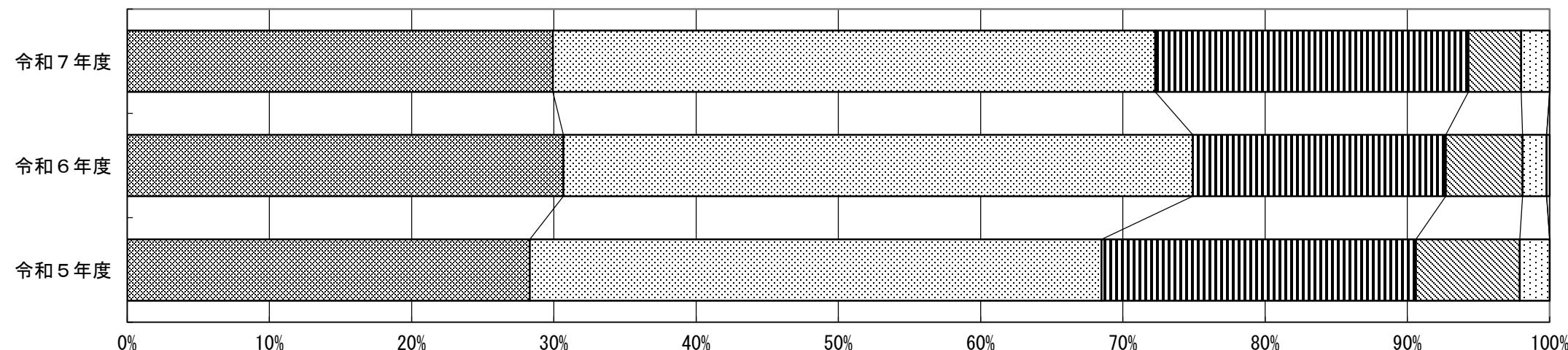


中学校



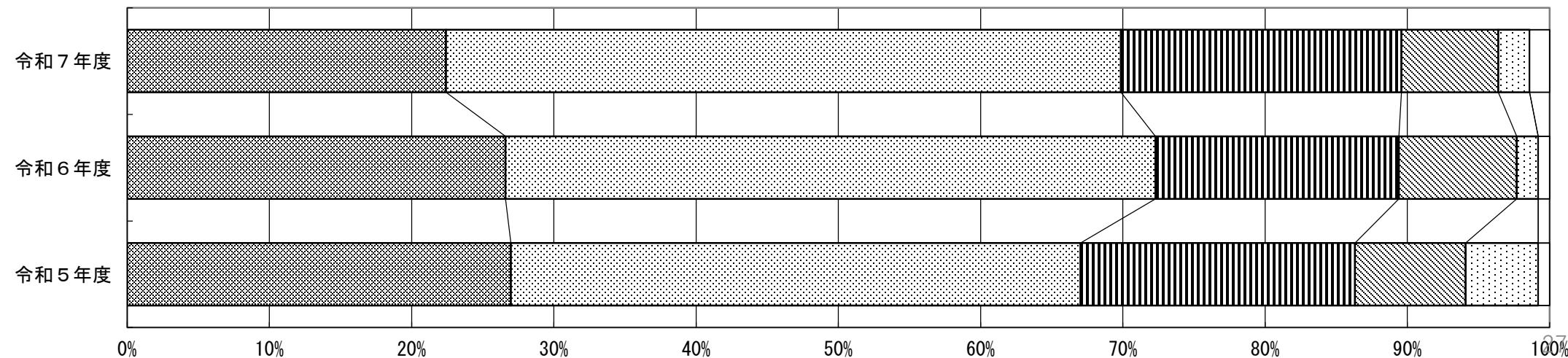
5年生（1・2年生）までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

小学校



国 0.23  
算 0.26  
理 0.19

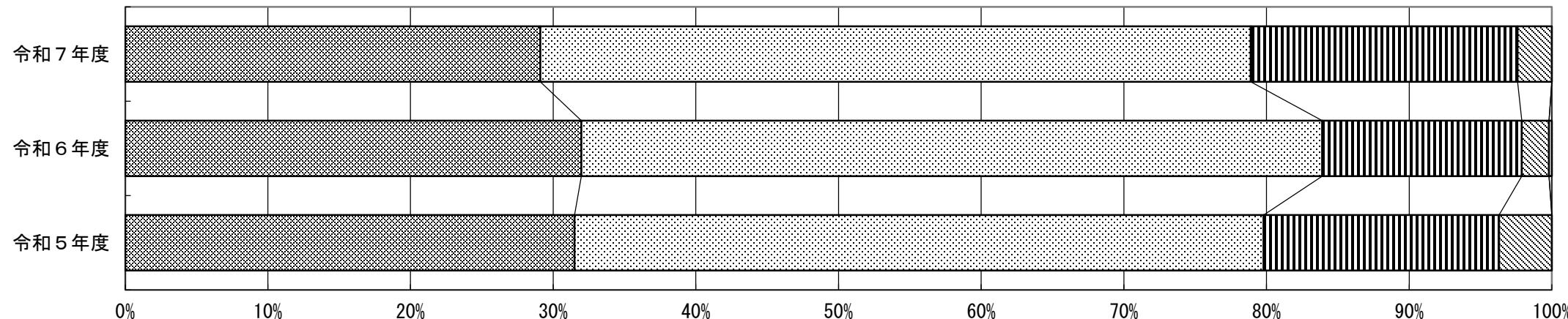
中学校



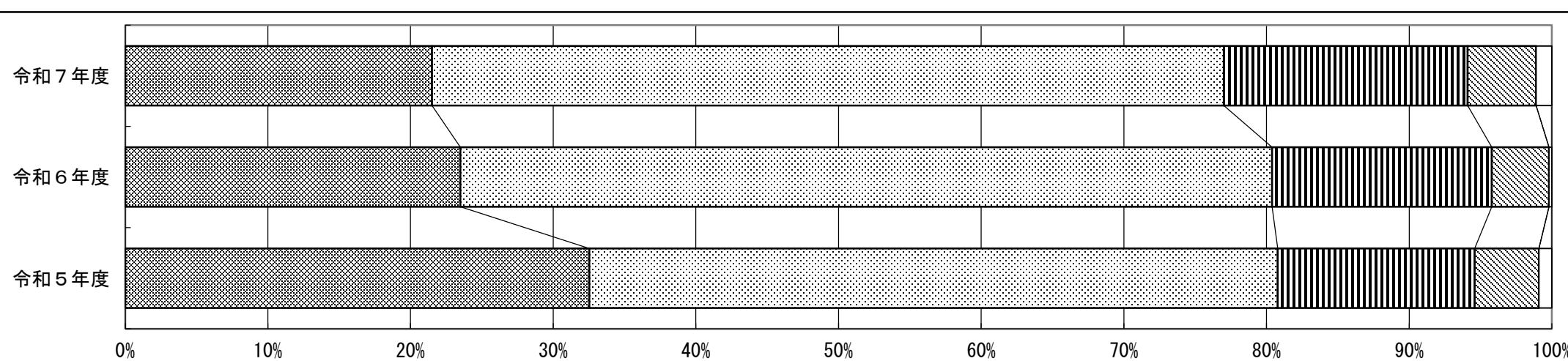
国 0.22  
数 0.30  
理 0.20

## 5年生（1・2年生）までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

小学校

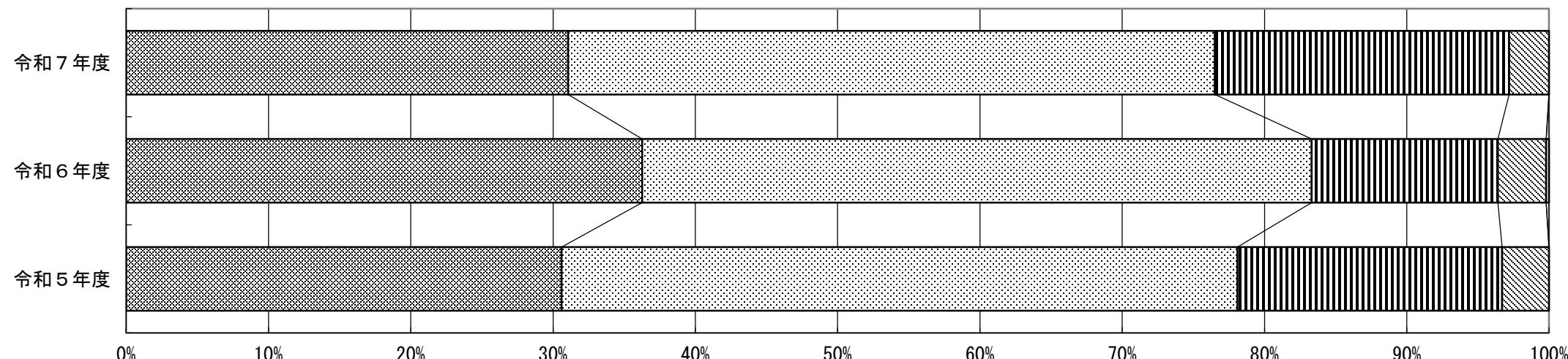
国 0.19  
算 0.22  
理 0.17

中学校

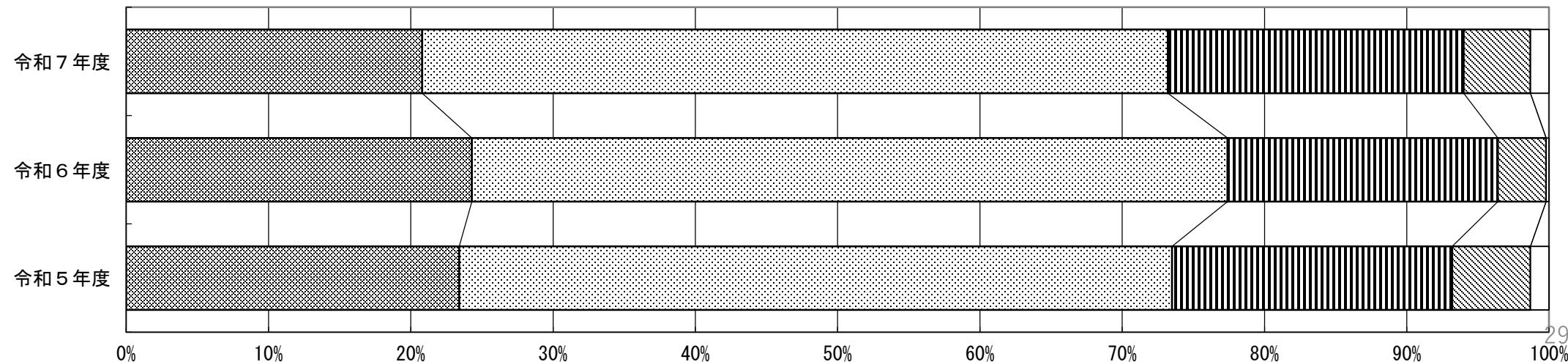
国 0.22  
数 0.26  
理 0.20

## 5年生（1・2年生）までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

小学校

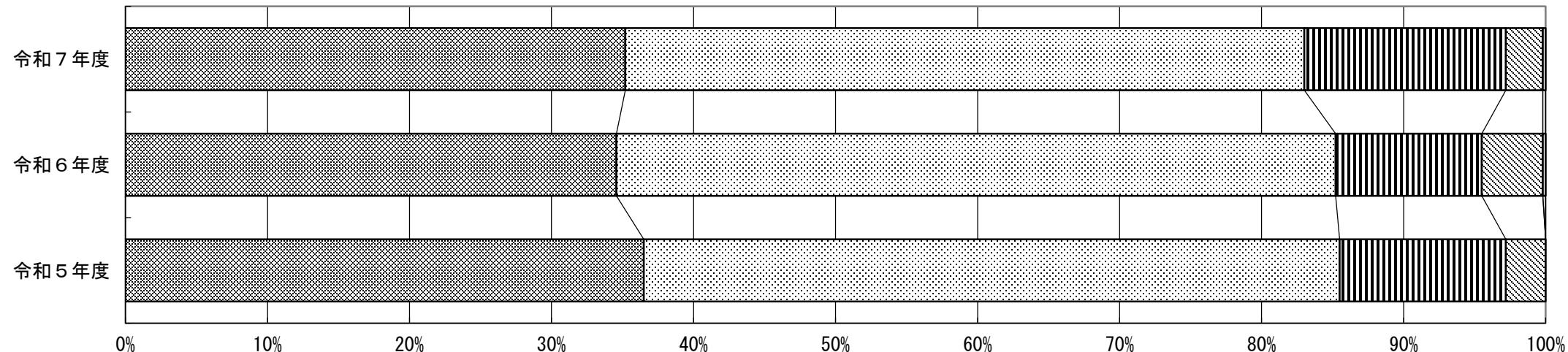
国 0.19  
算 0.23  
理 0.19

中学校

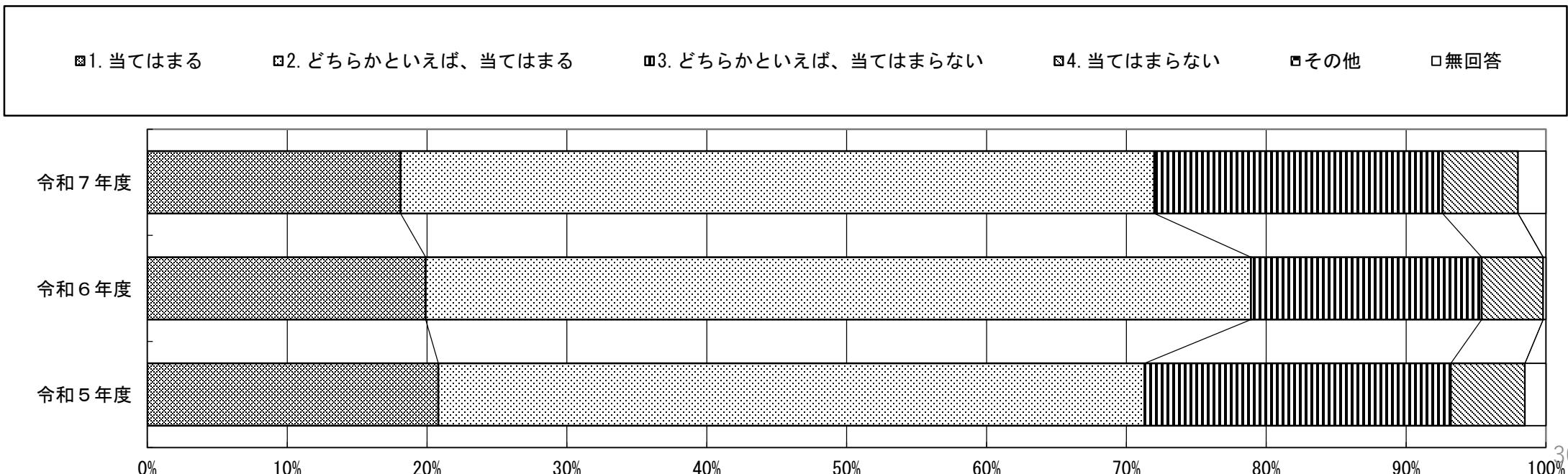
国 0.17  
数 0.19  
理 0.12

## 5年生（1・2年生）までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか

小学校

国 0.15  
算 0.23  
理 0.17

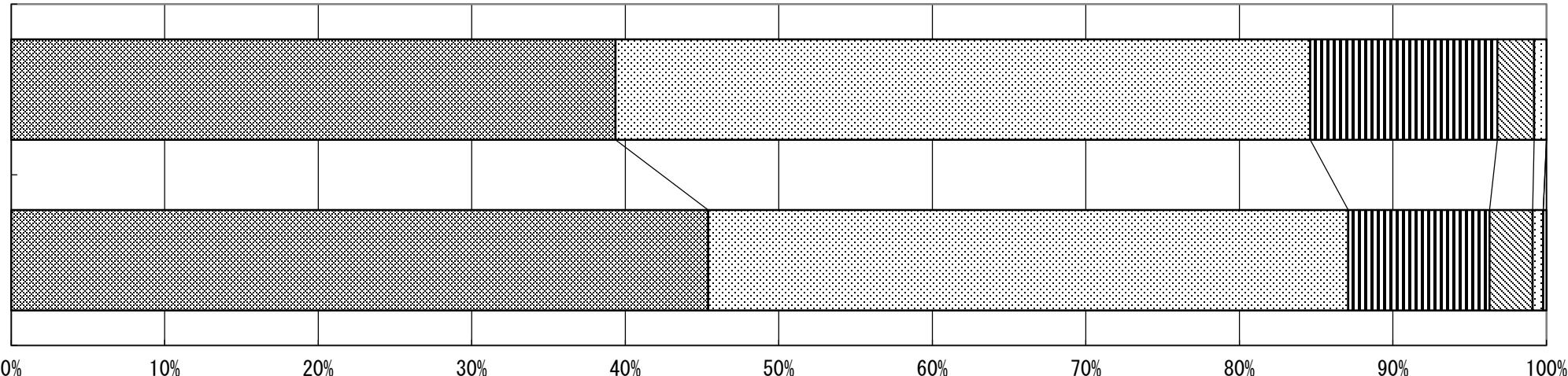
中学校

国 0.01  
数 0.06  
理 -0.02

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか

小学校

令和7年度

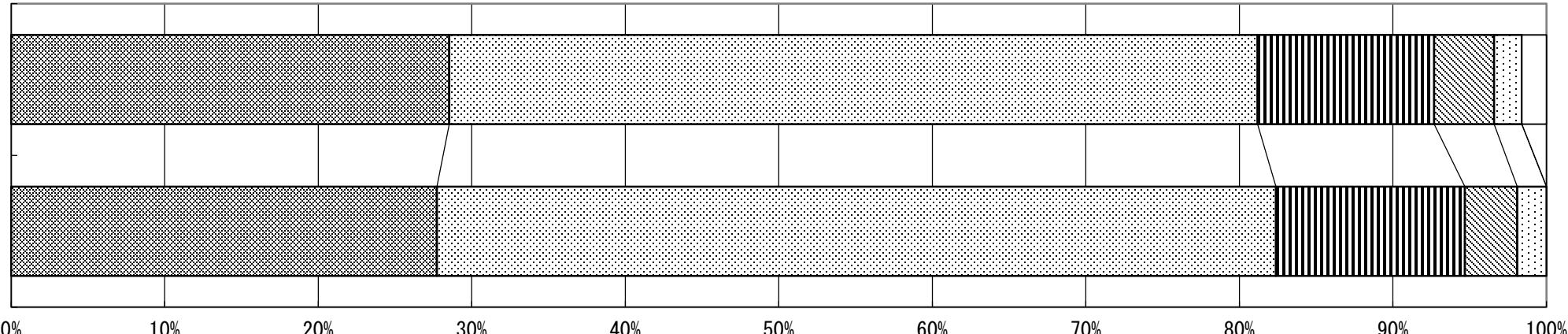


国 0.20  
算 0.18  
理 0.18

令和6年度

中学校

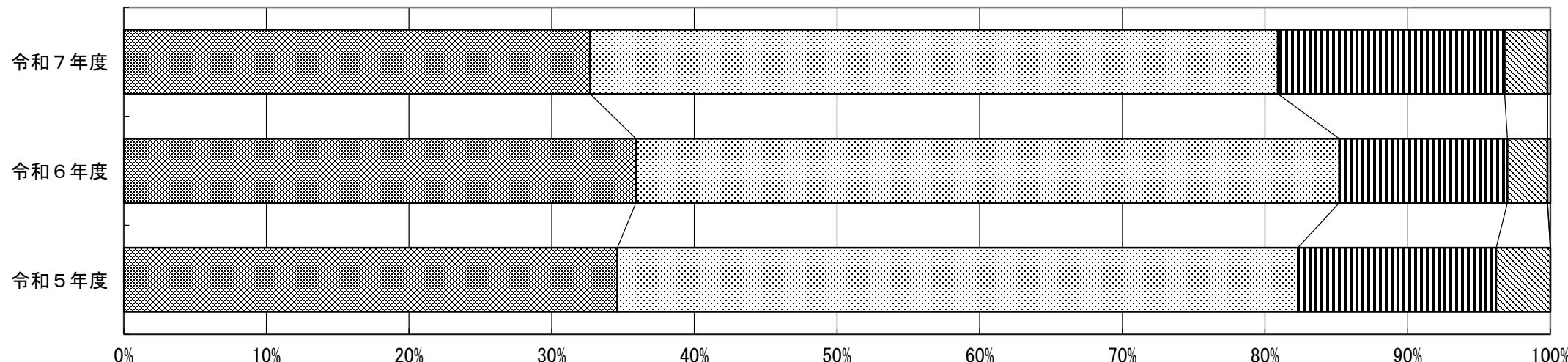
令和7年度



国 0.13  
数 0.12  
理 0.12

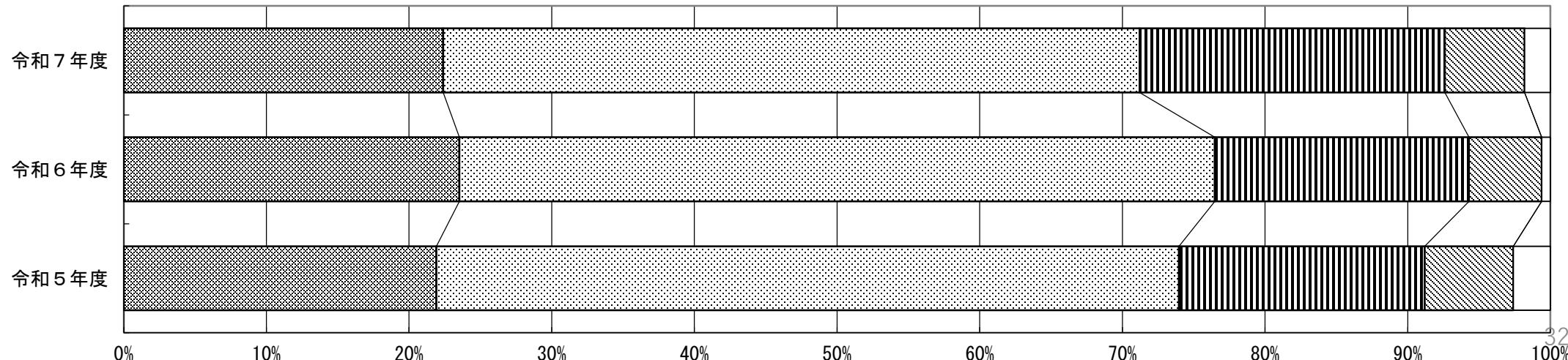
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか

小学校



国 0.17  
算 0.20  
理 0.14

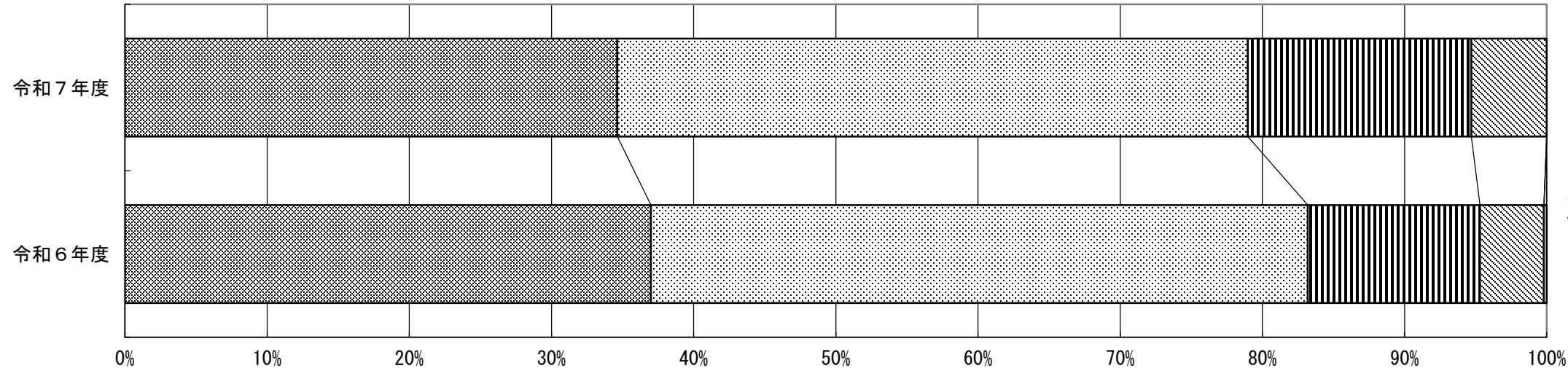
中学校



国 0.13  
数 0.21  
理 0.13

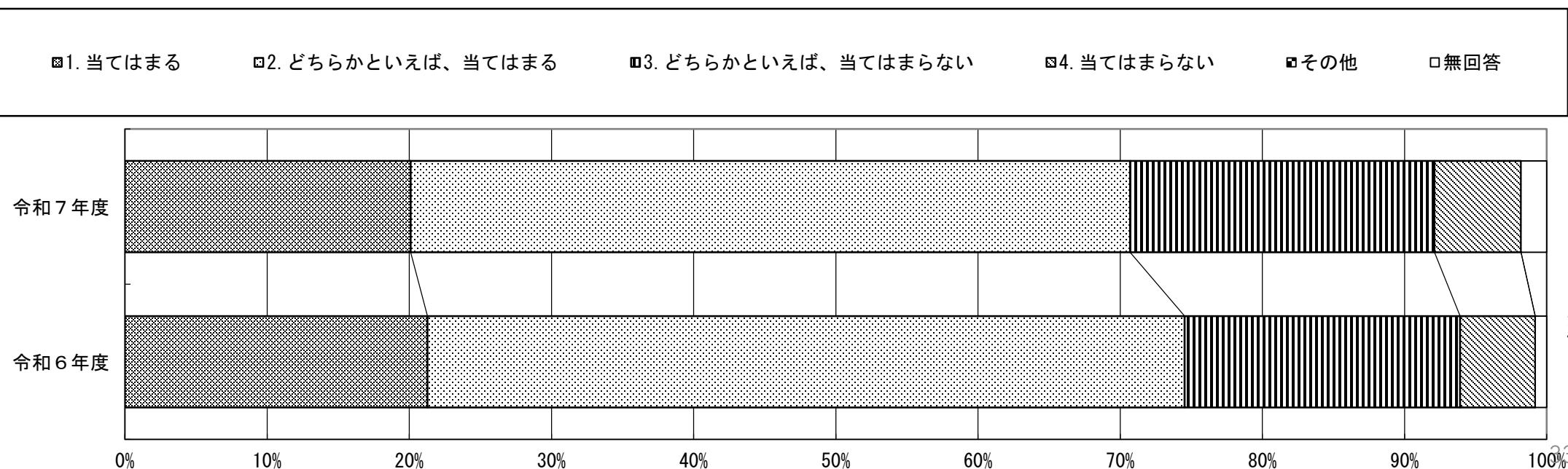
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか

小学校



国 0.11  
算 0.16  
理 0.05

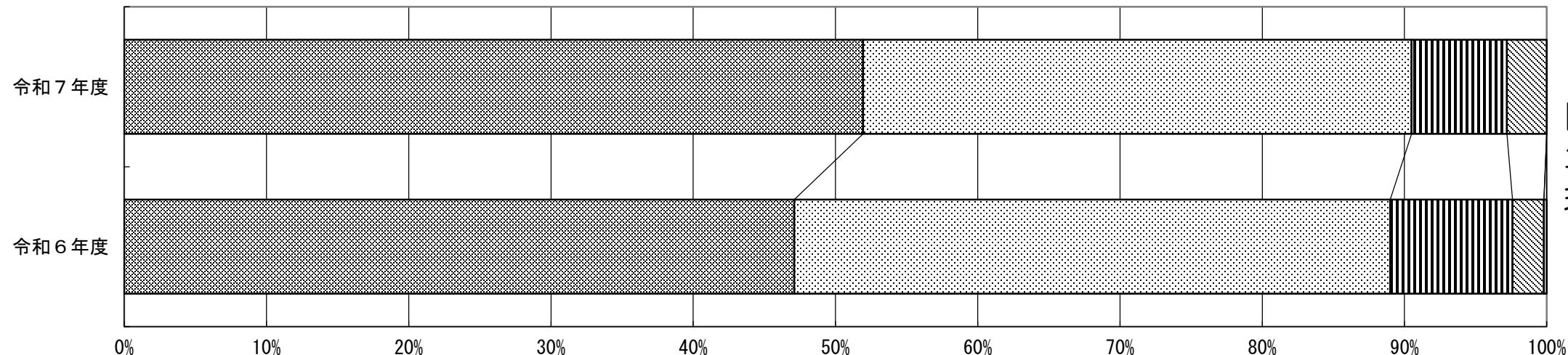
中学校



国 -0.03  
数 0.04  
理 0.01

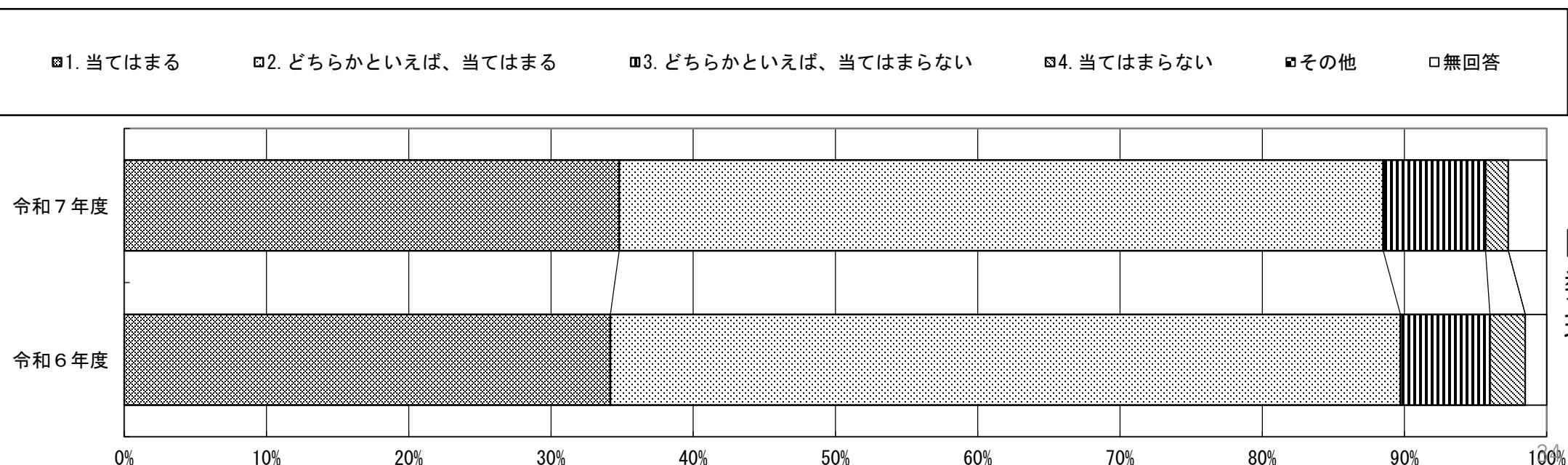
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか

小学校



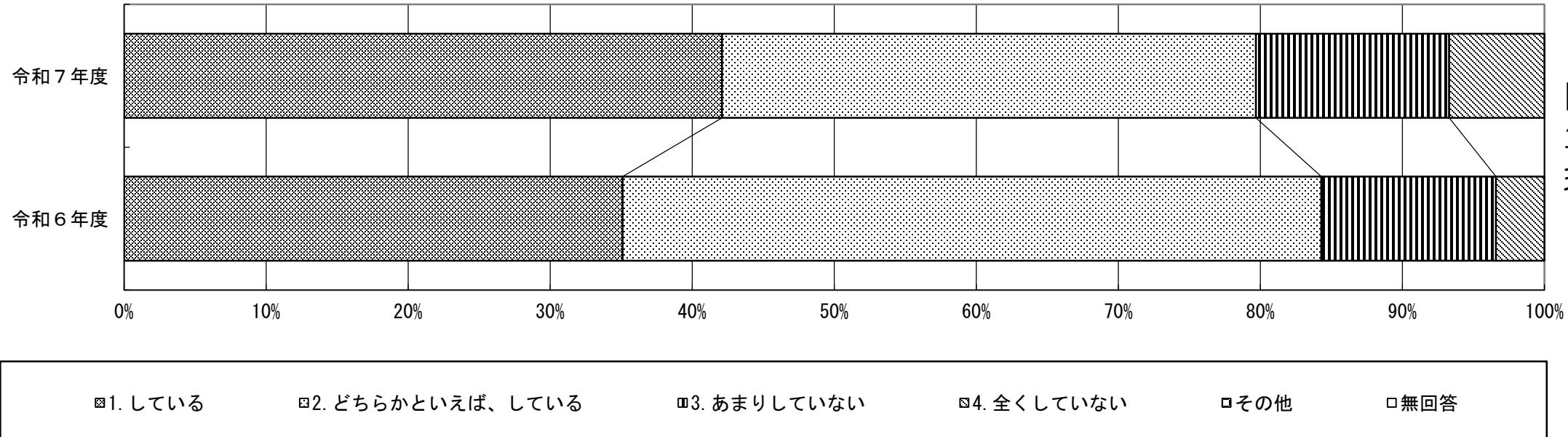
■1. 当てはまる    □2. どちらかといえば、当てはまる    □3. どちらかといえば、当てはまらない    □4. 当てはまらない    □その他    □無回答

中学校

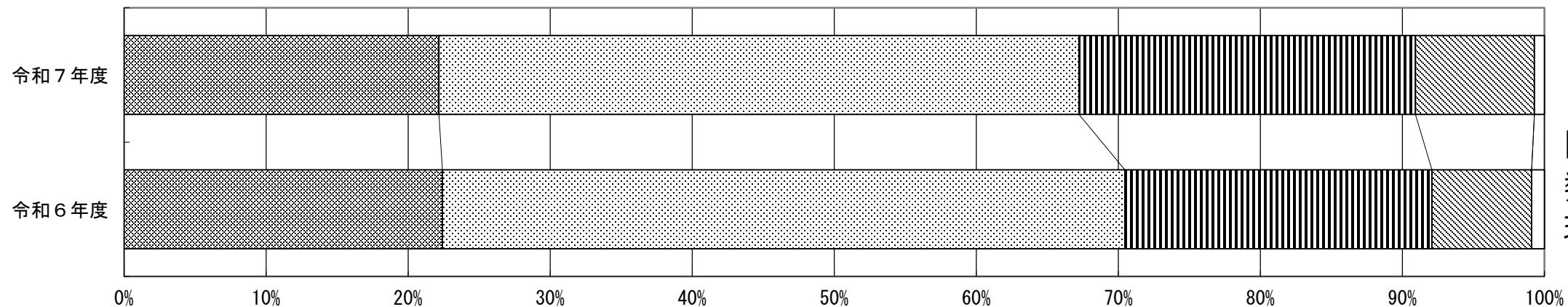


健康にすごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか

小学校

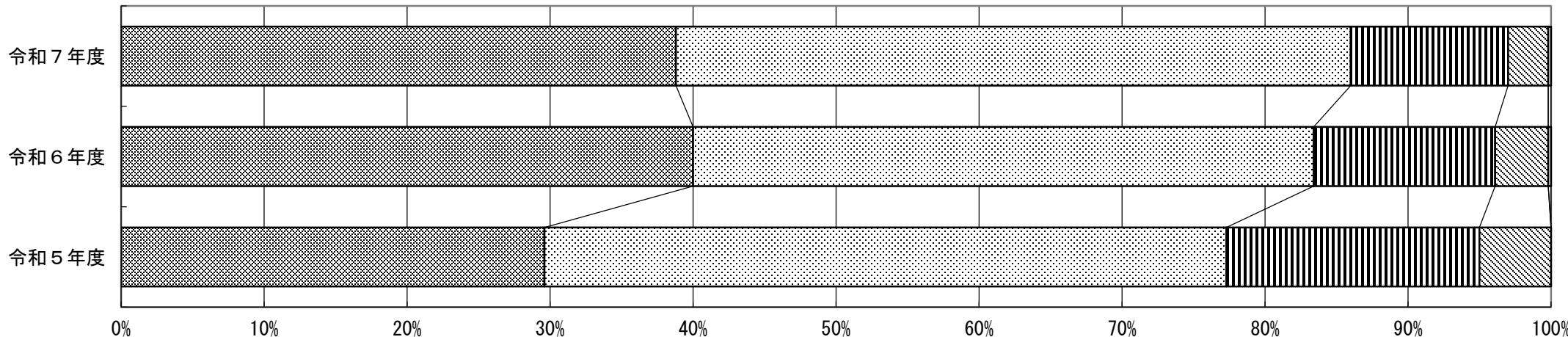


中学校



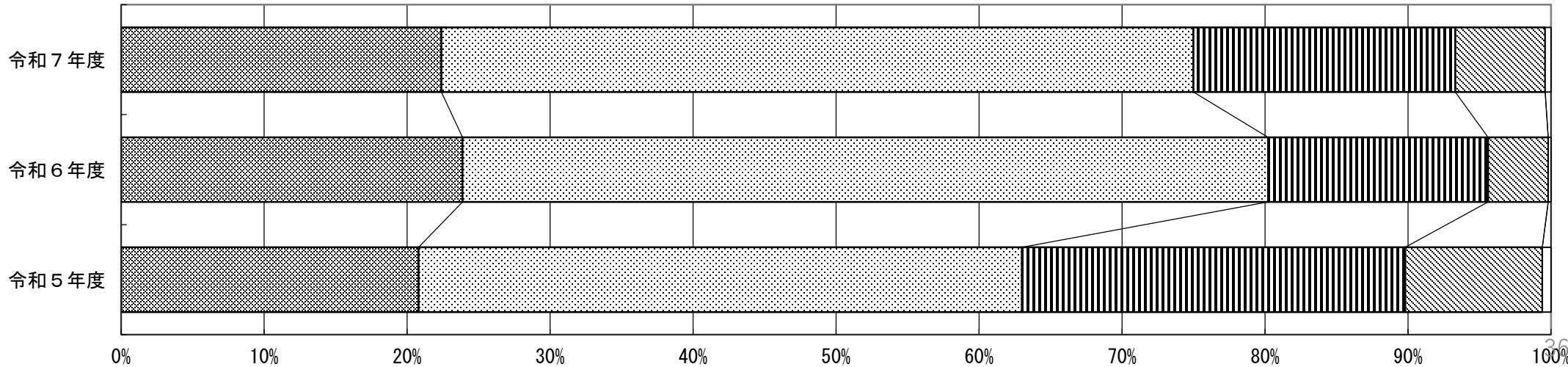
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

小学校



国 0.23  
算 0.25  
理 0.21

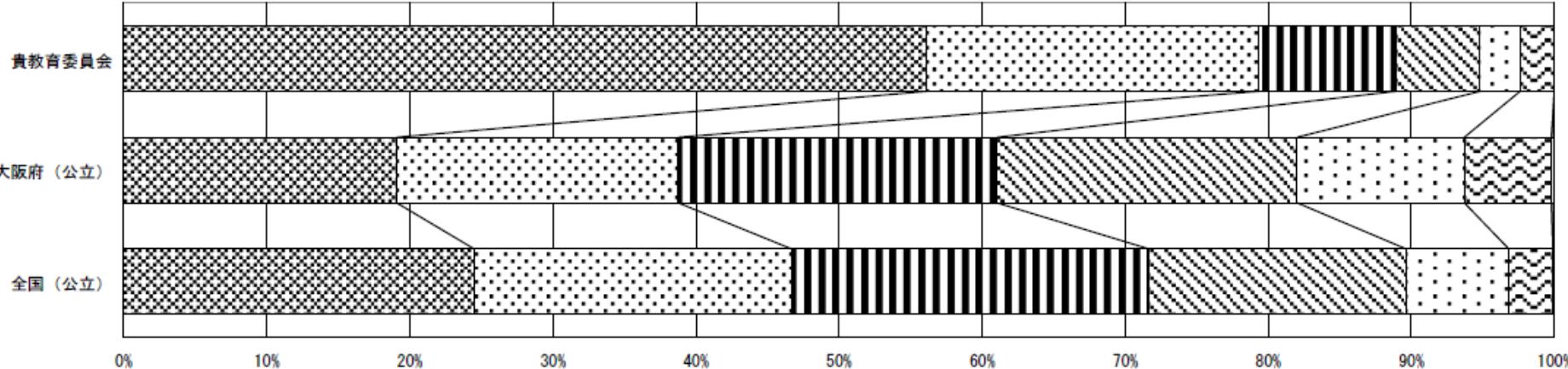
中学校



国 0.10  
数 0.15  
理 0.11

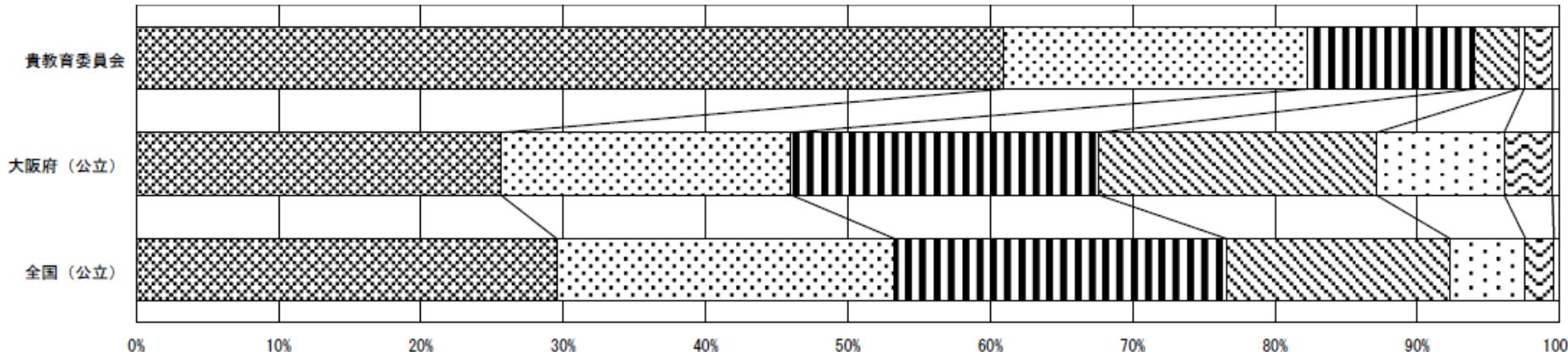
## 5年生（1・2年生）までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

小学校



国 0.16  
算 0.18  
理 0.21

中学校



国 0.21  
数 0.22  
理 0.20

# 学びに向かう力 総合的な学習の時間 ICTを活用した学習状況

- 主題的に学ぶことや伝え方の工夫は概ねできています。一方でほとんどの項目において、肯定的回答をした児童生徒の割合が、昨年からはやや減少しており、児童生徒がもっと学びたいと思えるような課題設定や仕掛け等の授業づくりにおける工夫が求められています。
- ICTは大変有効に活用されています。Society5.0の時代においては、タブレットも日常の文房具の1つと表現されています。健康面に関する配慮と併せて、学習に有効な場面での利活用を継続していくことが求められています。